



Magellan 1500i

スキャナ設定ガイド Rev.B



IDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社

製品の接続および、取扱いについて

製品の接続および、取扱いにつきましては、対象製品のハードウェアマニュアルを参照の上、正しい操作方法に従ってご使用願います。

ご注意

本書の内容の全部または一部を無断で複製・配布することを禁じます。本書の内容は予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。本書の内容には万全を期していますが内容を保証するものではありません。ご不審な点や誤り記載漏れなどお気づきのことがありましたら、ご購入された販売店もしくは IDEC AUTO-ID SOLUTIONS までお問合せ下さい。また、本書を利用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承下さい。

目次

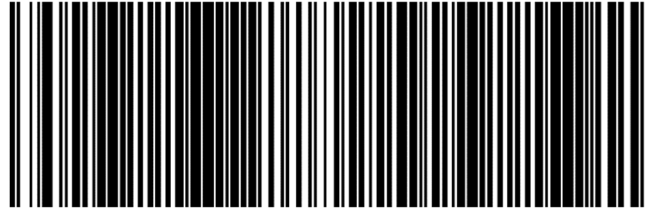
1. 初期設定	5
2. インターフェイス	6
RS232C 設定	6
通信ボーレート	6
データビット	7
ストップビット／パリティ	7
ハードウェアコントロール	8
ソフトウェアコントロール	8
キャラクタ間遅延	9
USB キーボード	10
USB キーボード言語	10
Caps Lock	11
ファンクションキー	11
USB-COM	12
3. 機能設定	13
2 度読み防止時間 (リニアコード)	13
2 度読み防止時間 (2 次元コード)	14
スリープモード設定	15
パワーオン・アラート設定	16
読取確認 LED 表示	16
読取確認音	17
読取確認音質	17
読取確認音長さ	18
読取確認音量	19
ハンドヘルドモード	20
グリーンスポット点灯時間	20
4. バーコード設定 (リニアコード)	21
EAN/JAN13	21
EAN/JAN13 チェックデジット送信	21
EAN/JAN13 デコード検証回数	22
EAN/JAN 8	23
EAN/JAN 8 チェックデジット送信	23
EAN/JAN 8 EAN/JAN 8 → EAN/JAN 13 変換	24
EAN/JAN 8 デコード検証回数	24
UPC-A/UPC-E	25

UPC-A	25
UPC-A チェックデジット送信	25
UPC-A ナンバーシステムデジット	25
UPC-A → EAN 13 変換	26
UPC-A デコード検証回数	26
UPC-E	27
UPC-E チェックデジット送信	27
UPC-E ナンバーシステムデジット	28
UPC-E → EAN 13 変換	28
UPC-E → UPC-A 変換	29
UPC-E デコード検証回数	29
インストアマーキング デコード検証回数	30
GTIN 変換	31
アドオン	31
EAN/JAN / UPC アドオン	31
書籍 JAN2 段コード	32
書籍 JAN2 段コード 一括送信	33
書籍 JAN 2 段コード デコード検証回数	33
ISBN	34
定期刊行物（雑誌）JAN コード	34
Code39	35
Code39 チェックキャラクタ計算	35
Code39 チェックデキャラクタ送信	36
Code39 スタート/ストップキャラクタ送信	36
Code39 Full ASCII 変換	37
Code39 デコード検証回数	37
Code39 桁数	38
Code39 桁数設定	38
Code128	39
Code128 デコード検証回数	39
Code128 桁数	40
Code128 桁数設定	40
I 2 OF 5	41
I 2 OF 5 チェックデジット計算	41
I 2 OF 5 チェックデジット送信	42
I 2 OF 5 デコード検証回数	42
I 2 OF 5 桁数	43
I 2 OF 5 桁数設定	43
CODABAR	44
CODABAR チェックキャラクタ計算	44
CODABAR チェックキャラクタ送信	45
CODABAR スタート/ストップ キャラクタ送信	45
CODABAR スタート/ストップ キャラクタセット	46
CODABAR デコード検証回数	47
CODABAR 桁数	48
CODABAR 桁数設定	48
Code93	49
Code93 デコード検証回数	49
Code93 桁数	50
Code93 桁数設定	50
GS1 DataBar オムニダイレクト	51
GS1 DataBar オムニダイレクト UCC/EAN128 エミュレーション	51

GS1 DataBar オムニダイレクトデコード検証回数	52
GS1 DataBar エクспанテッド	53
GS1 DataBar エクспанテッド GS1-128 エミュレーション	53
GS1 DataBar エクспанテッド デコード検証回数	54
GS1 DataBar エクспанテッド 桁数	55
GS1 DataBar エクспанテッド 桁数設定	55
GS1 DataBar リミテッド	56
GS1 DataBar リミテッド GS1-128 エミュレーション	56
GS1 DataBar リミテッド デコード検証回数	57
5. バーコード設定（2次元/コンポジットコード）	58
QR コード	58
QR コード内 URL 読取	58
QR コードのデータが URL の場合の設定。	58
無効：QR コード内のデータが URL は読み取らない。	58
有効：QR コード内のデータが URL を読み取る。	58
QR コード桁数	59
QR コード桁数設定	59
Micro QR コード	60
Micro QR コード桁数	61
Micro QR コード桁数設定	61
GS1 QR	62
Datamatrix	62
Datamatrix 桁数	63
Datamatrix 桁数設定	63
PDF417	64
PDF417 桁数	65
PDF417 桁数設定	65
MicroPDF417	66
MicroPDF417 桁数	67
MicroPDF417 桁数設定	67
GS1 DataBar オムニダイレクト 2D コンポーネント	68
GS1 DataBar エクспанテッド 2D コンポーネント	68
GS1 DataBar リミテッド 2D コンポーネント	69
6. アドバンス・デコード設定	71
反転ラベル設定	71
7. データ編集	72
データ編集の概要	72
Prefix / Suffix	72
AIM ID	73
ラベル ID コントロール	74
大文字小文字変換	80
キャラクタ変換	81
付録 A. LED 表示とビーパー音	82
付録 B. 初期値一覧	82
付録 C. キーパッド	85
付録 D. ファンクションキーマップ	88
付録 E. ホストコマンド	88
付録 F. ASCII チャート	89

1. 初期設定

出荷時設定ラベル

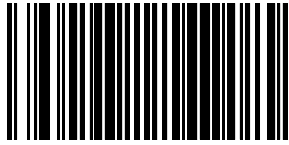


ウ 0 0 0 0 0 7 F F C 0 0 0 0 0 0 0

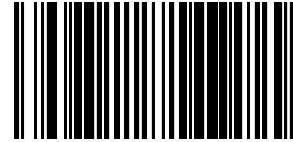
設定を初期設定に戻す

2. インターフェイス

RS232C 設定



設定開始/終了



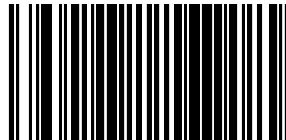
RS232C



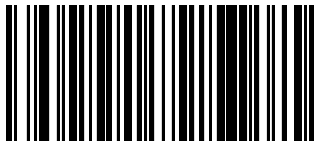
注 意

RS232C でのシリアル通信パラメータは下記の組合せでは、使用できません。
ボーレート：1,200～38,400bps、データビット長：7 ビット、
ストップビット長：1 ビット、パリティ：無し

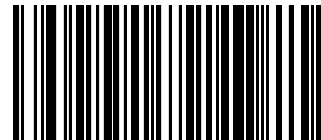
通信ボーレート



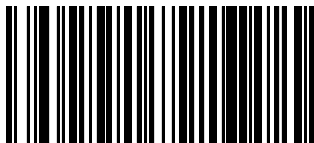
設定開始/終了



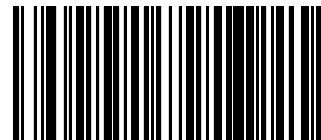
1200bps



2400bps



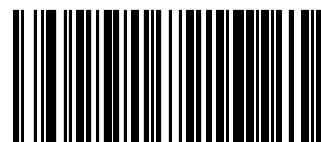
4800bps



9600bps (初期値)

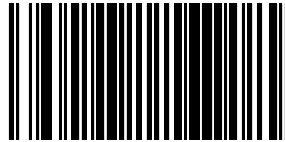


19200bps

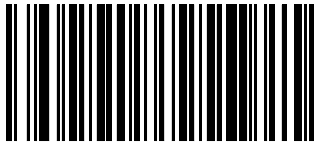


38400bps

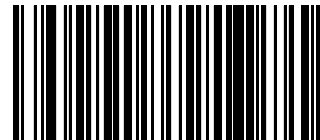
データビット



設定開始/終了

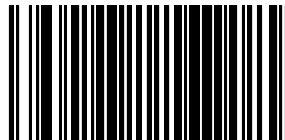


7bit

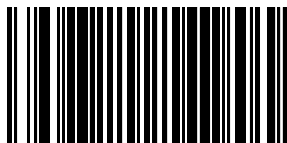


8bit (初期値)

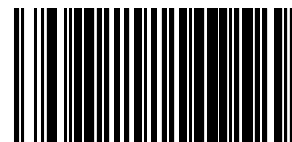
ストップビット／パリティ



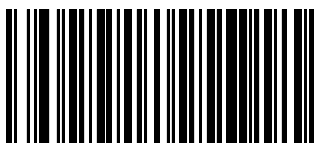
設定開始/終了



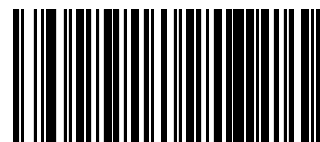
1bit (初期値)



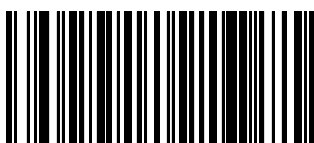
2bit



パリティ=なし (初期値)

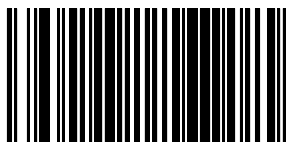


パリティ=Even

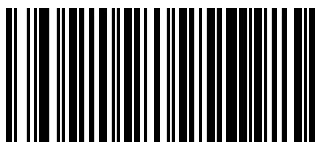


パリティ=Odd

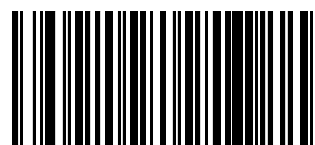
ハードウェアコントロール



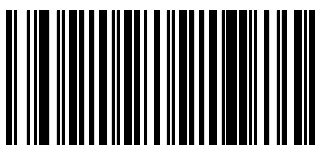
設定開始/終了



無効（初期値）

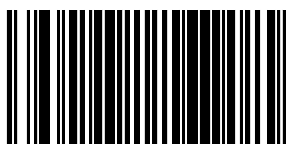


CTS Flow Control

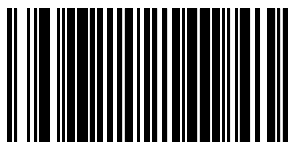


CTS Scan Control

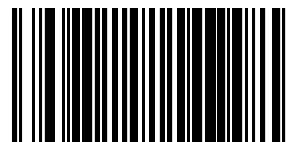
ソフトウェアコントロール



設定開始/終了

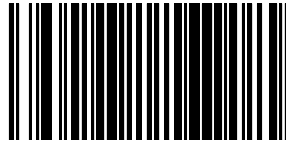


無効（初期値）

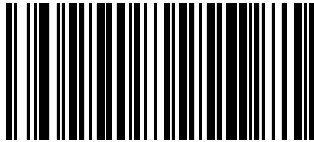


有効

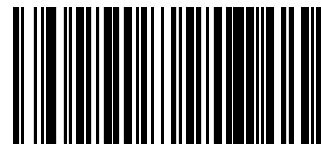
キャラクタ間遅延



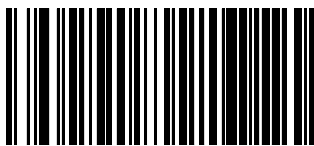
設定開始/終了



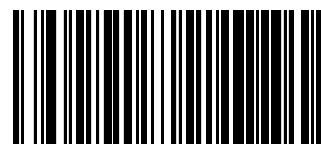
なし (初期値)



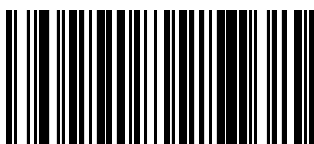
10ms



20ms



30ms

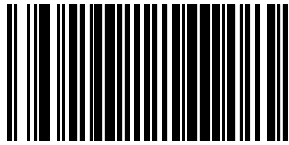


40ms

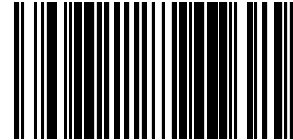


50ms

USB キーボード



設定開始/終了



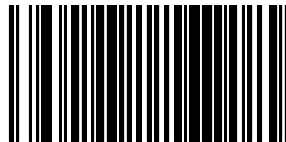
USB キーボード

米国キーを用いる場合は

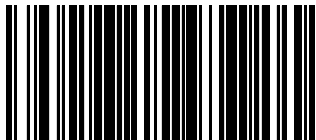
USB キーボード言語を設定して下さい

米国、日本語 106 キー以外をご使用のお客様は弊社までお問い合わせください。

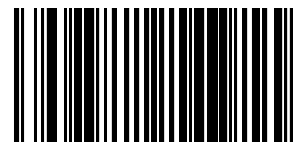
USB キーボード言語



設定開始/終了

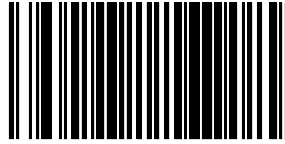


日本語 106 キー(初期値)

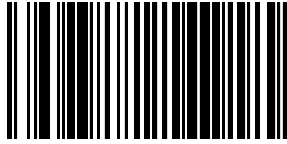


米国

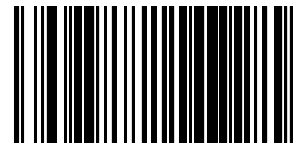
Caps Lock



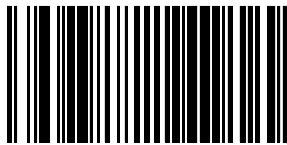
設定開始/終了



Caps Lock OFF(初期値)



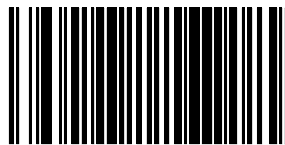
Caps Lock ON



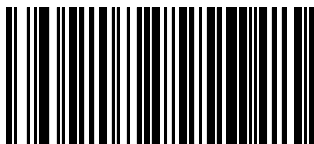
Shift Lock ON

ファンクションキー

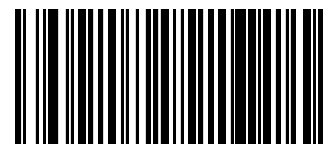
付録 D のファンクションキーボードを有効にします。



設定開始/終了



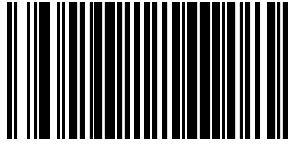
ファンクションキー無効(初期値)



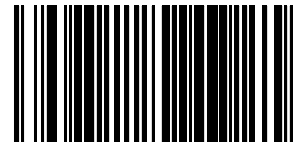
ファンクションキー有効

USB-COM

USB-COM インターフェイスは別途ドライバーソフトが必要です。ドライバーソフトと動作環境につきましては、ご購入された販売店もしくはデータロジックADC までお問合せ下さい。環境により動作しない場合もありますので、必ず動作確認を行うようお願いいたします。



設定開始/終了

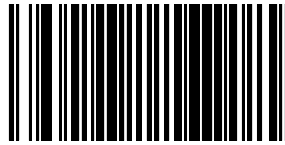


USB-COM

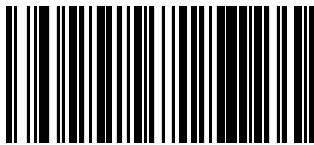
3. 機能設定

2 度読み防止時間（リニアコード）

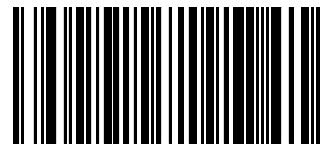
同一のバーコードの 2 度読み防止時間の設定をします。



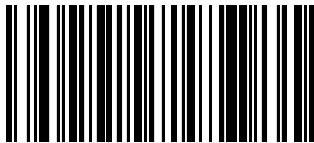
設定開始/終了



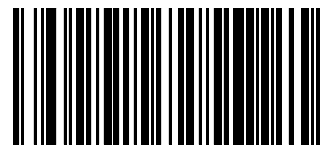
0.2sec



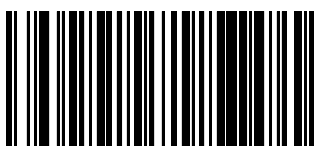
0.4sec(初期値)



0.6sec



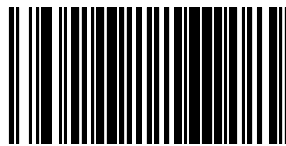
0.8sec



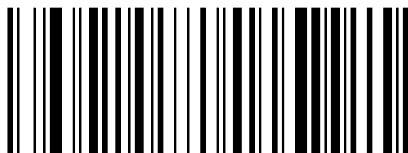
1sec

2 度読み防止時間（2次元コード）

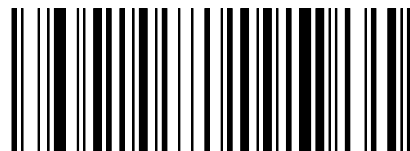
同一のバーコードの2度読み防止時間の設定をします。



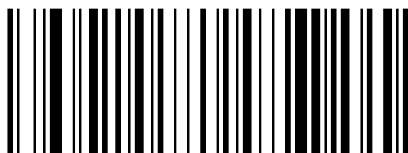
設定開始/終了



0.3sec



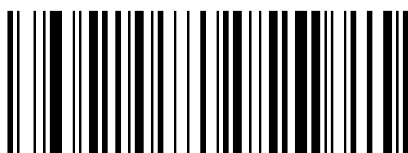
0.4sec



0.6sec

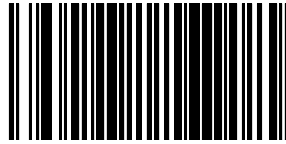


0.7sec (初期値)

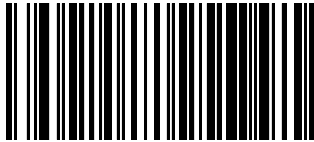


0.8sec

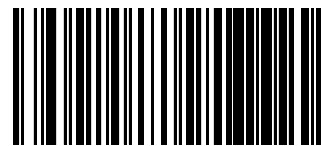
スリープモード設定



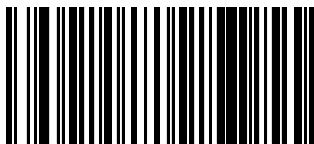
設定開始/終了



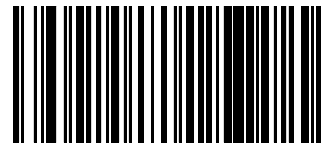
なし



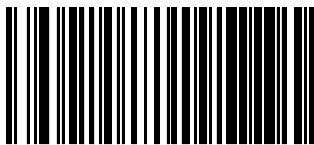
15 sec



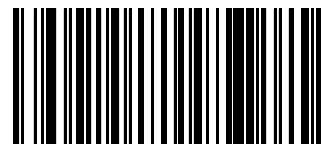
1 min



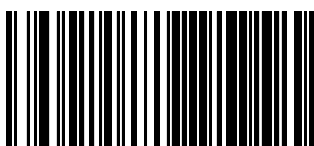
5 min(初期値)



10 min

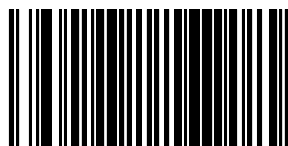


15 min

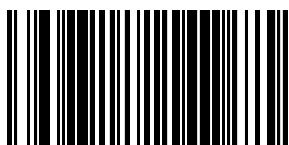


30 min

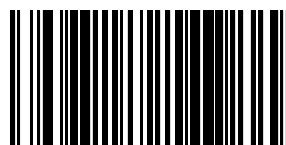
パワーオン・アラート設定



設定開始/終了



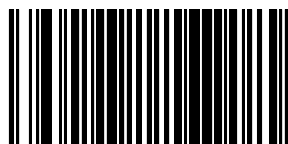
有効（初期値）



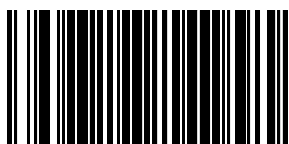
無効

読取確認 LED 表示

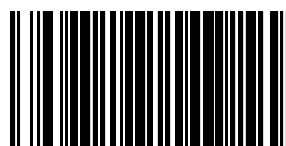
読取確認時の LED 表示をするタイミングを設定します



設定開始/終了

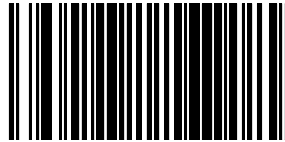


デコード後(初期値)

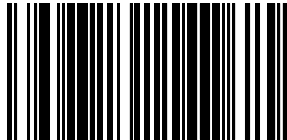


データ送信後

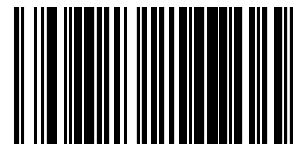
読取確認音



設定開始/終了



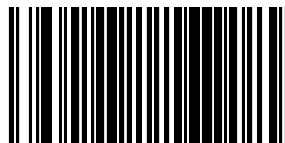
有効(初期値)



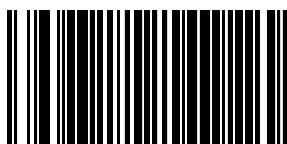
無効

読取確認音質

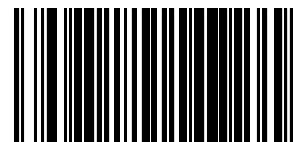
読取確認音質の種類を設定します



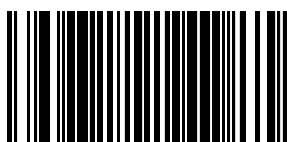
設定開始/終了



低音

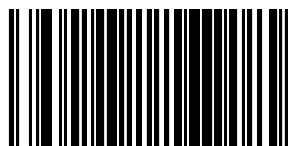


中音(初期値)

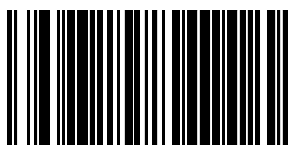


高音

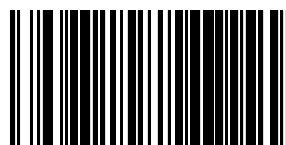
読取確認音長さ



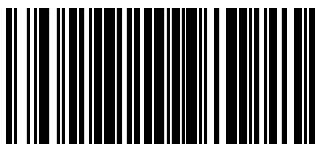
設定開始/終了



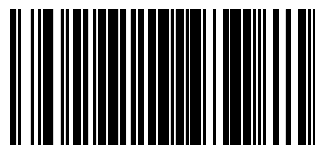
60msec



80msec (初期値)



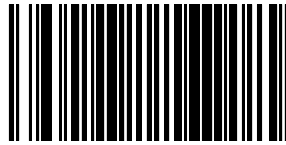
100msec



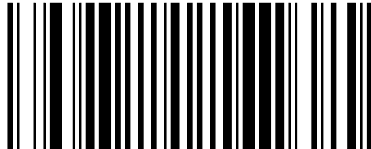
120msec

読取確認音量

読取確認音量を設定します



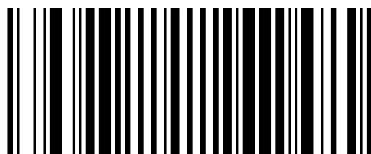
設定開始/終了



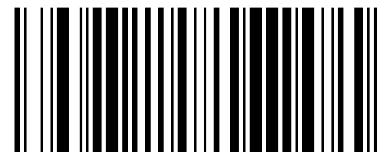
最小



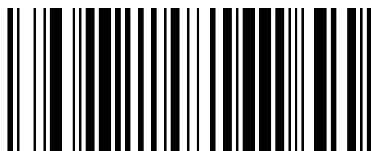
小



中(初期値)

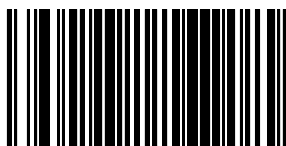


大

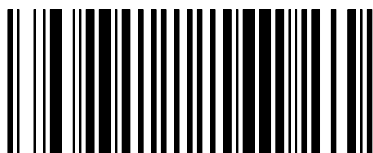


最大

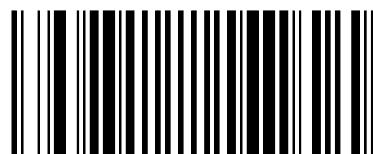
ハンドヘルドモード



設定開始/終了

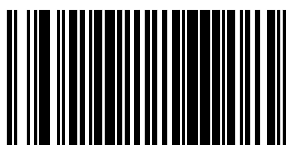


無効(初期値)

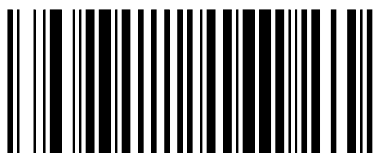


有効

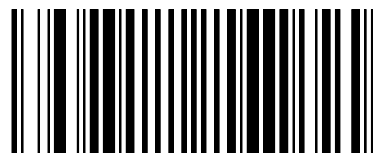
グリーンスポット点灯時間



設定開始/終了



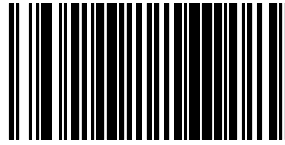
250ms(初期値)



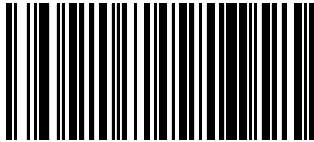
設定 OFF

4. バーコード設定（リニアコード）

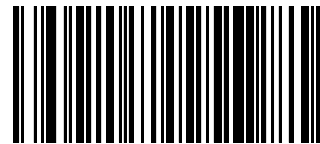
EAN/JAN13



設定開始/終了

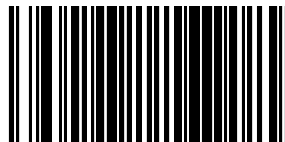


EAN/JAN-13 有効 (初期値)

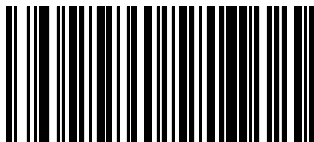


EAN/JAN-13 無効

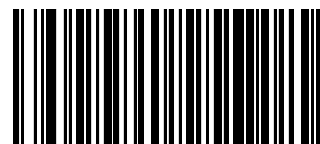
EAN/JAN13 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信有効 (初期値)

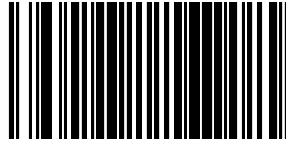


送信無効

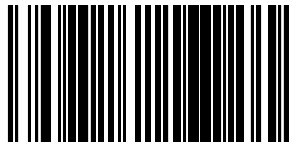
EAN/JAN13 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

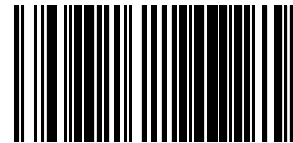
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



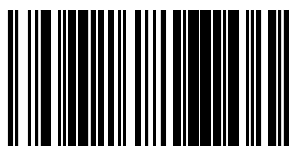
設定開始/終了



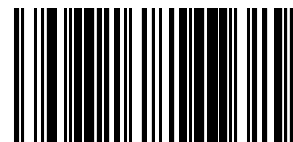
1 回



2 回(初期値)

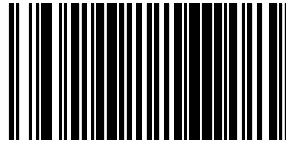


3 回

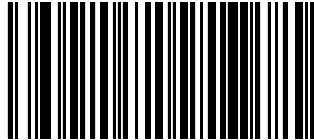


4 回

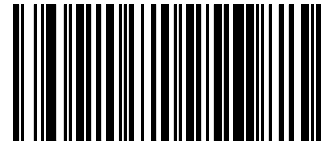
EAN/JAN 8



設定開始/終了

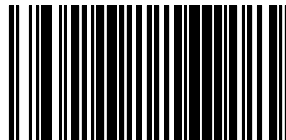


EAN/JAN 8 有効 (初期値)

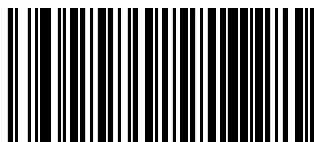


EAN/JAN 8 無効

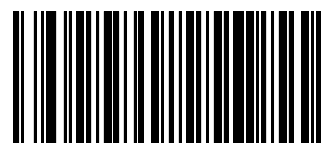
EAN/JAN 8 チェックデジット送信



設定開始/終了

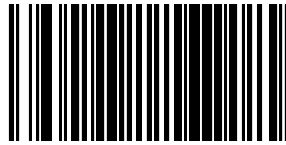


送信有効 (初期値)

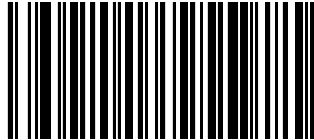


送信無効

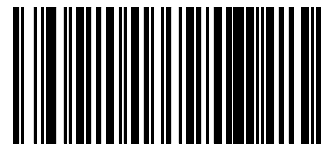
EAN/JAN 8 EAN/JAN 8 → EAN/JAN 13 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

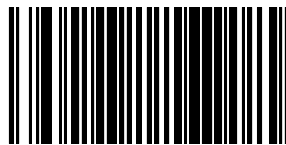


変換有効

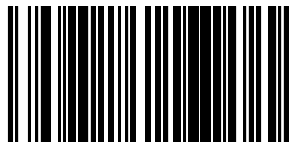
EAN/JAN 8 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

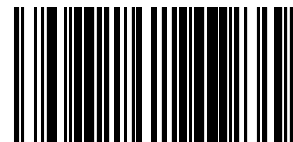
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



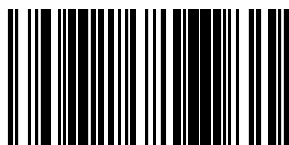
設定開始/終了



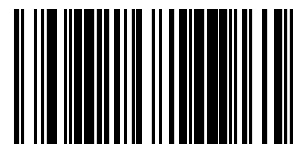
1 回



2 回(初期値)

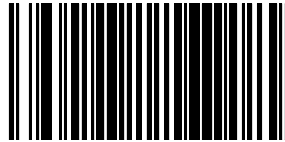


3 回

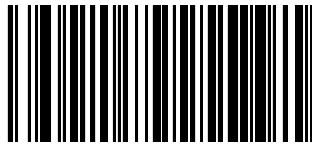


4 回

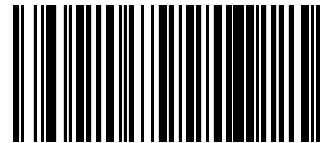
UPC-A/UPC-E UPC-A



設定開始/終了

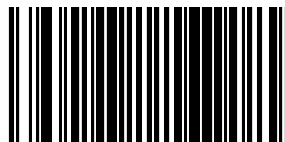


UPC-A 無効

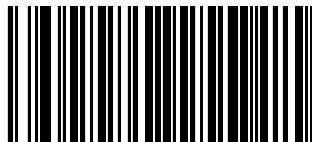


UPC-A 有効(初期値)

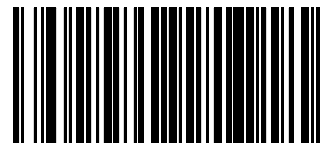
UPC-A チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効

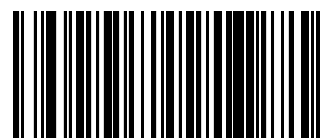


送信有効 (初期値)

UPC-A ナンバーシステムデジット

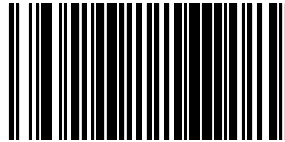


付加しない

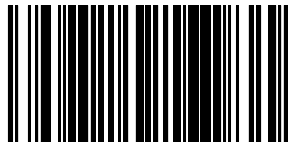


付加する(初期値)

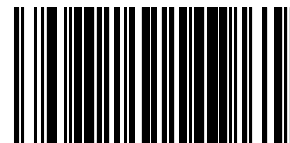
UPC-A → EAN 13 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

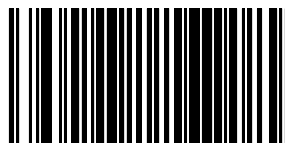


変換有効

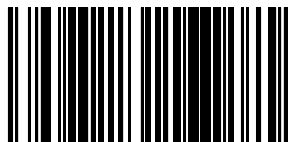
UPC-A デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

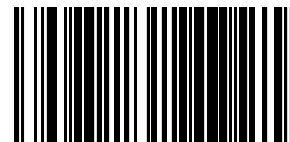
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



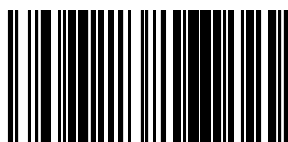
設定開始/終了



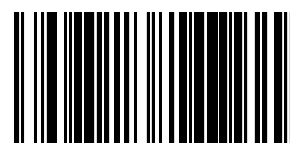
1 回



2 回(初期値)

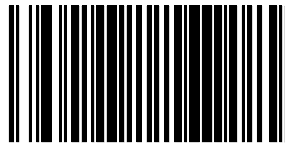


3 回

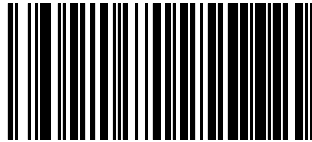


4 回

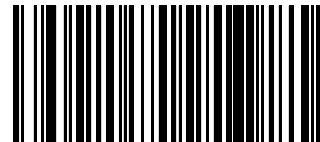
UPC-E



設定開始/終了

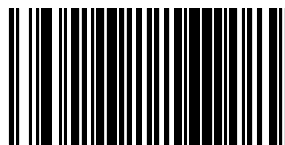


UPC-E 無効

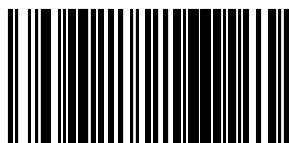


UPC-E 有効(初期値)

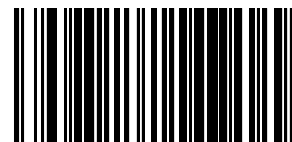
UPC-E チェックデジット送信



設定開始/終了

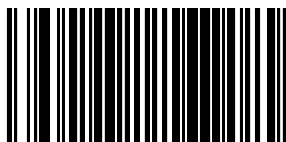


送信無効

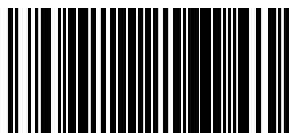


送信有効 (初期値)

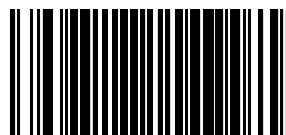
UPC-E ナンバーシステムデジット



設定開始/終了

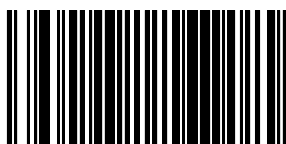


付加しない

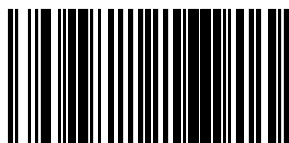


付加する(初期値)

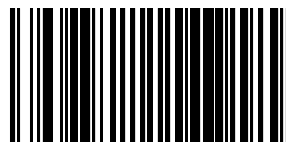
UPC-E → EAN 13 変換



設定開始/終了

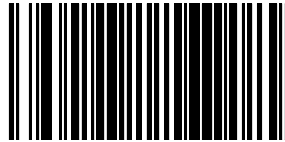


変換無効 (初期値)

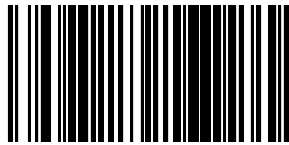


変換有効

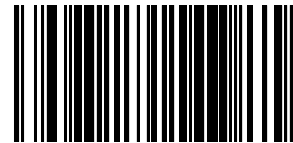
UPC-E → UPC-A 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

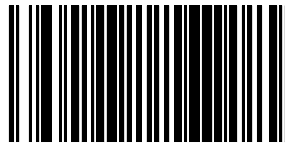


変換有効

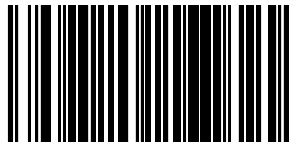
UPC-E デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

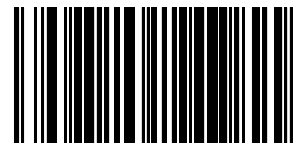
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



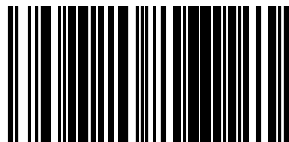
設定開始/終了



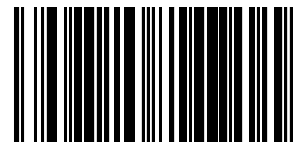
1 回



2 回 (初期値)



3 回



4 回

インストアマーキング デコード検証回数

下記の UPC-A 及び EAN/JAN8,13 のインストアマーキングラベルの
読取データ的一致回数を設定します。

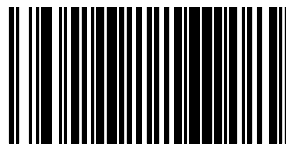
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。

(インストアマーキング)

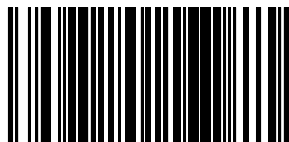
UPC-A : ナンバーシステムが 2 または 4 のコード

EAN/JAN8,13 : Flag 1 が 2 のコード

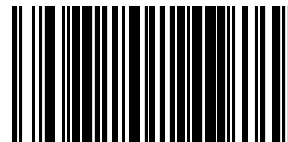
EAN13 : 「980」の 3 桁で始まるコード



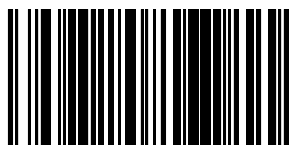
設定開始/終了



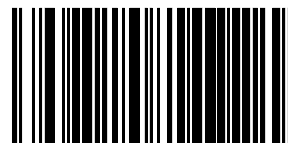
1 回



2 回 (初期値)



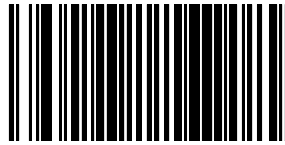
3 回



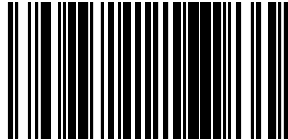
4 回

GTIN 変換

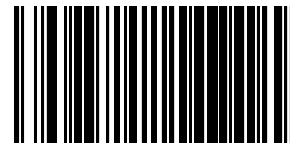
EAN/JAN,UPC-A,UPC-E を GTIN 14 桁の形式に変換の設定をします。



設定開始/終了



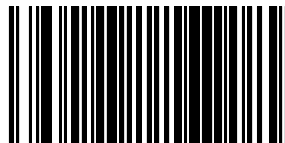
変換無効 (初期値)



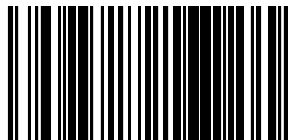
変換有効

アドオン

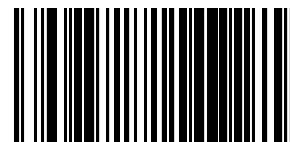
EAN/JAN / UPC アドオン



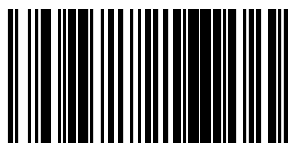
設定開始/終了



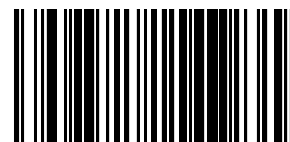
2 桁無効 (初期値)



2 桁有効



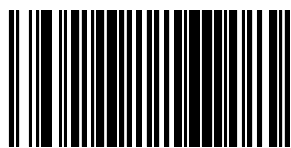
5 桁無効 (初期値)



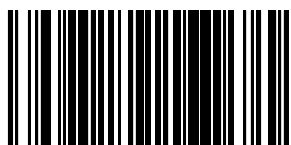
5 桁有効

書籍 JAN2 段コード

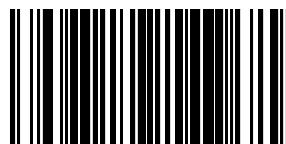
有効にした後に、書籍 2 段コードのフラグ設定をします。



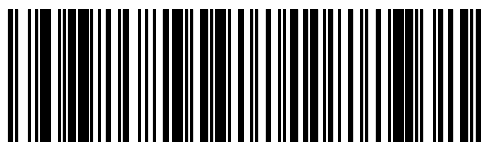
設定開始/終了



有効(初期値)



無効



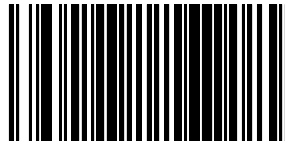
上段 97 下段 19



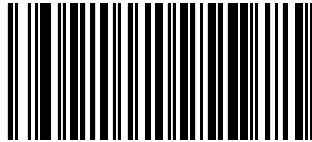
上段 9784 下段 19(初期値)

書籍 JAN2 段コード 一括送信

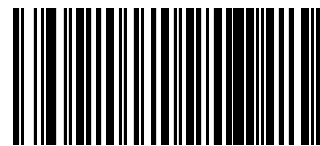
読み取りをした2つのバーコードを1つのデータとして送信します。



設定開始/終了



無効 (初期値)

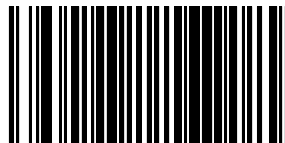


有効

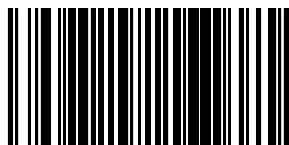
書籍 JAN 2 段コード デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

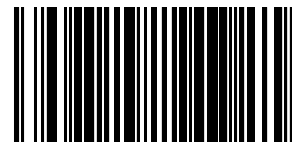
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



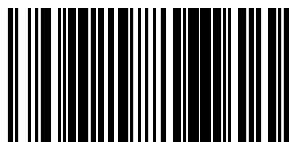
設定開始/終了



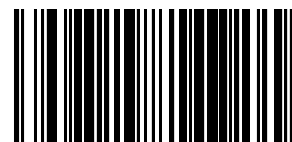
1 回



2 回 (初期値)



3 回



4 回

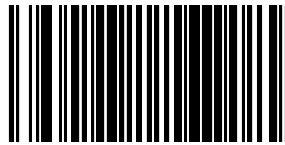
ISBN

変換例

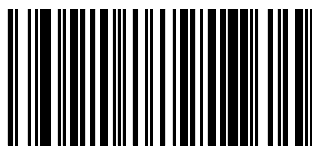
バーコードデータ : 9789572222720

出力データ : 9572222724

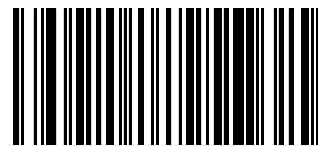
注意) ISBN を有効にした場合は書籍 JAN2 段コード “上段 97 下段 19” の組合せを有効にしないで下さい。



設定開始/終了



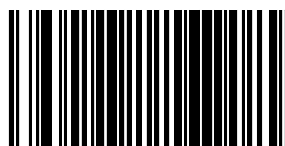
有効



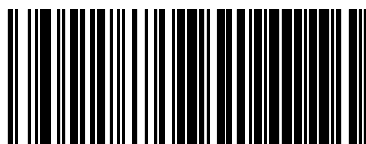
無効 (初期値)

定期刊行物（雑誌）JAN コード

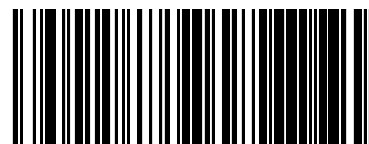
雑誌コードを有効にする場合、アドオン 5 桁を有効にする必要はありません。



設定開始/終了

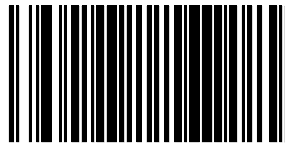


雑誌コード有効 (初期値)

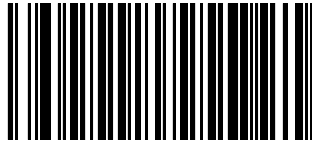


雑誌コード無効

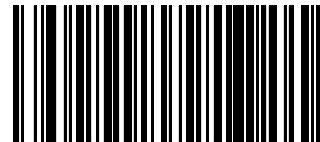
Code39



設定開始/終了

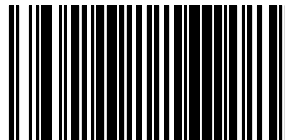


Code39 無効

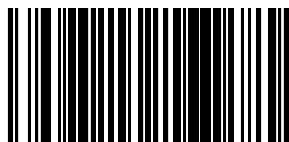


Code39 有効 (初期値)

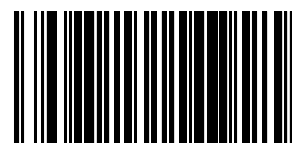
Code39 チェックキャラクタ計算



設定開始/終了

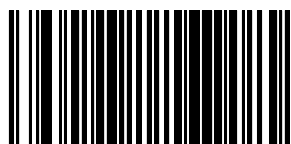


無効(初期値)



有効

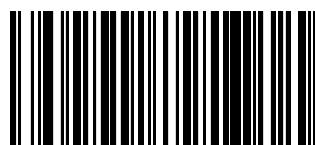
Code39 チェックデキヤラクタ送信



設定開始/終了

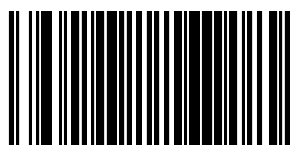


送信無効

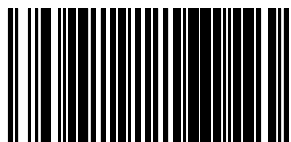


送信有効 (初期値)

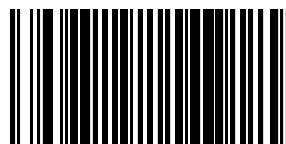
Code39 スタート/ストップキヤラクタ送信



設定開始/終了

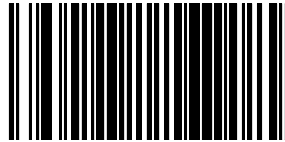


送信無効(初期値)

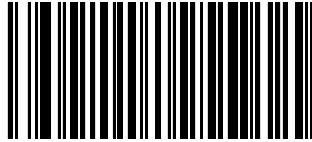


送信有効

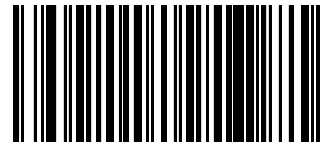
Code39 Full ASCII 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

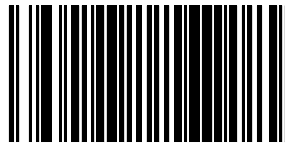


変換有効

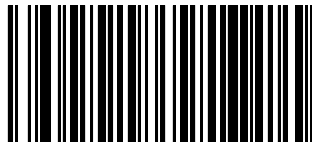
Code39 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

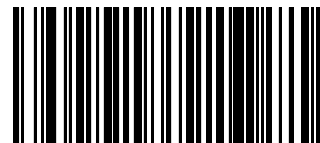
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



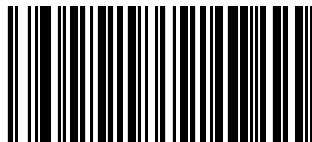
設定開始/終了



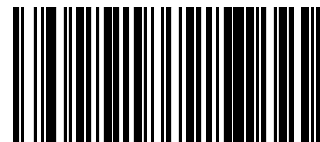
1 回



2 回 (初期値)

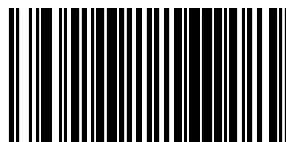


3 回

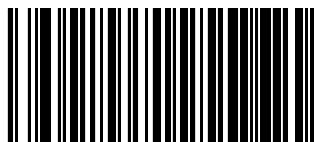


4 回

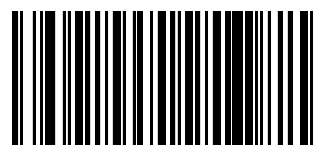
Code39 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Code39 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。

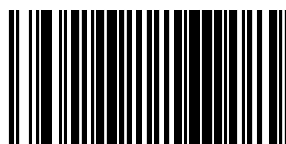
手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

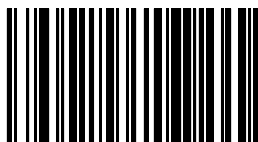
3. 巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

例) 02 → 2桁 (桁数設定1 初期値)

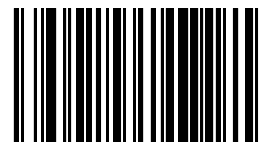
50 → 50桁 (桁数設定2 初期値)



設定開始/終了

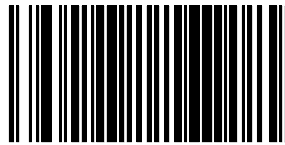


桁数設定 1

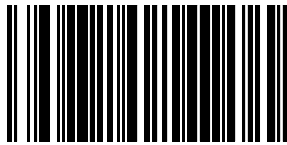


桁数設定 2

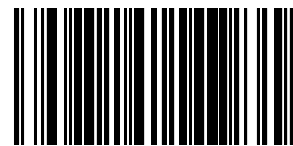
Code128



設定開始/終了



Code128 無効

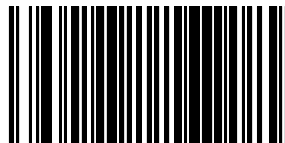


Code128 有効 (初期値)

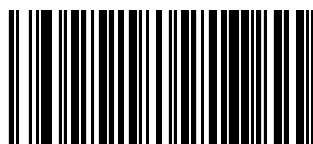
Code128 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

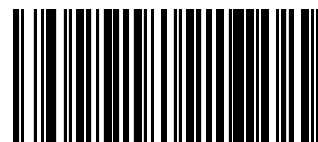
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



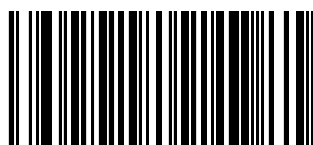
設定開始/終了



1 回



2 回 (初期値)

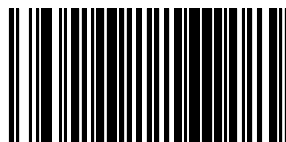


3 回

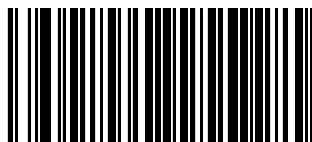


4 回

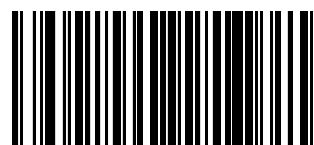
Code128 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Code128 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。

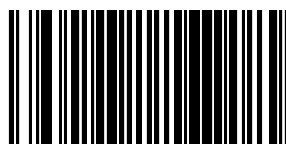
手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

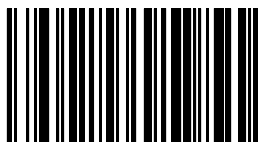
3. 巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

例) 01 → 1桁 (桁数設定1 初期値)

80 → 80桁 (桁数設定2 初期値)



設定開始/終了

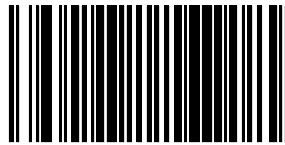


桁数設定 1

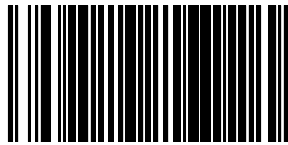


桁数設定 2

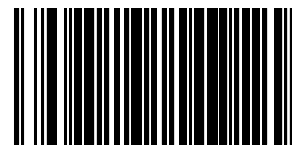
I 2 OF 5



設定開始/終了

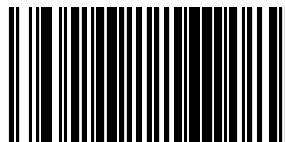


I 2 OF 5 無効（初期値）

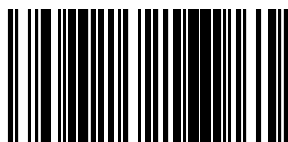


I 2 OF 5 有効

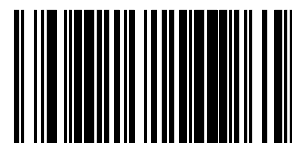
I 2 OF 5 チェックデジット計算



設定開始/終了

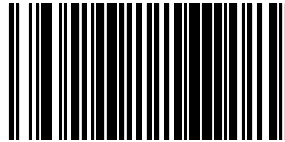


無効（初期値）

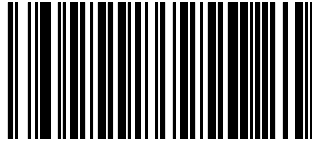


有効

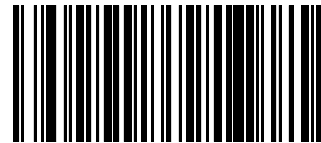
12 OF 5 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効

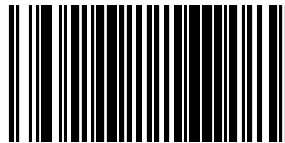


送信有効(初期値)

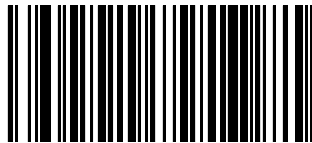
12 OF 5 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

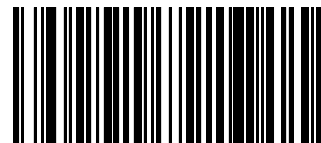
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



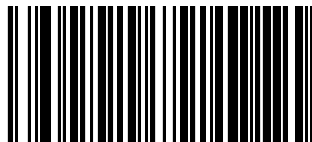
設定開始/終了



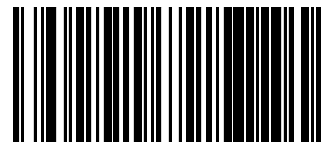
1 回



2 回(初期値)

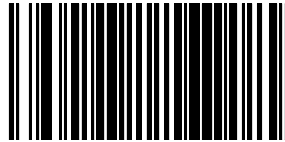


3 回

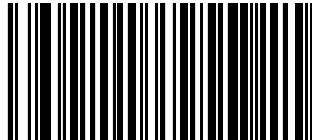


4 回

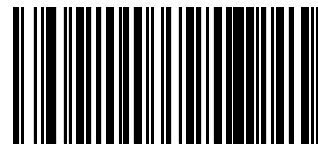
I 2 OF 5 桁数



設定開始/終了



可変



固定(初期値)

I 2 OF 5 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。

手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。

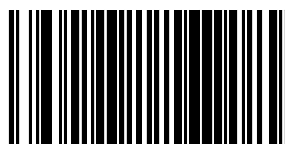
2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

3. 巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

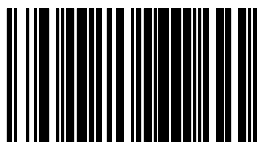
注意) I 2 OF 5 の桁数は偶数桁で入力して下さい。

例) 14 → 14 桁 (桁数設定 1 初期値)

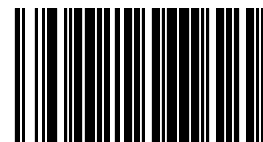
16 → 16 桁 (桁数設定 2 初期値)



設定開始/終了

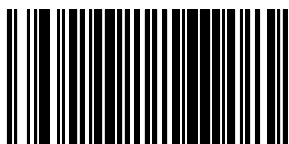


桁数設定 1

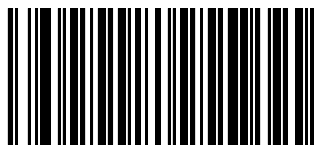


桁数設定 2

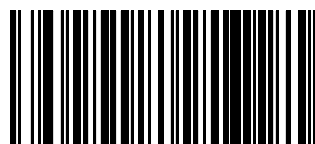
CODABAR



設定開始/終了

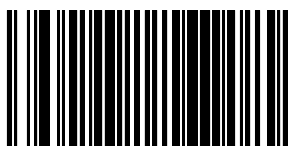


CODABAR 無効 (初期値)

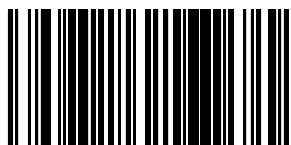


CODABAR 有効

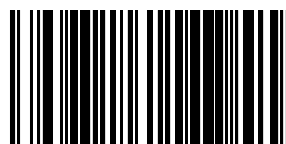
CODABAR チェックキャラクタ計算



設定開始/終了

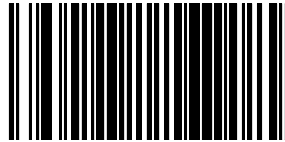


無効 (初期値)

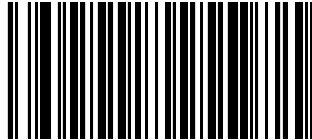


有効

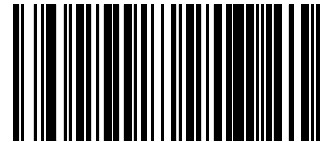
CODABAR チェックキャラクタ送信



設定開始/終了

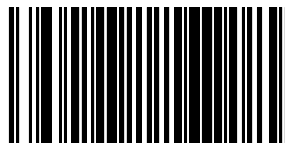


送信無効

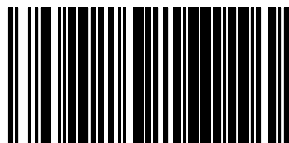


送信有効 (初期値)

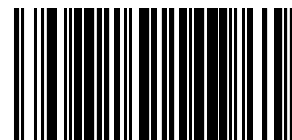
CODABAR スタート/ストップ キャラクタ送信



設定開始/終了

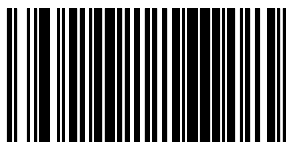


送信無効

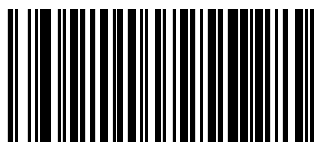


送信有効(初期値)

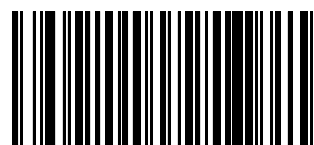
CODABAR スタート/ストップ キャラクタセット



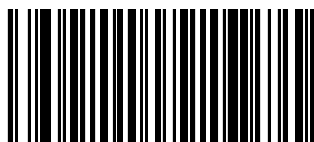
設定開始/終了



ABCD/TN*E



ABCD/ABCD



abcd/tn*e

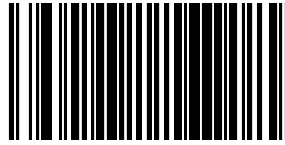


abcd/abcd (初期値)

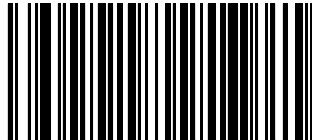
CODABAR デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

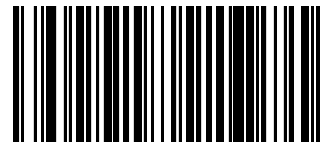
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



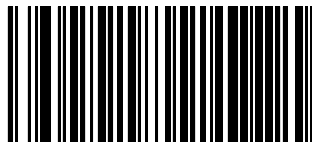
設定開始/終了



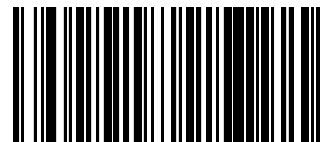
1 回



2 回(初期値)

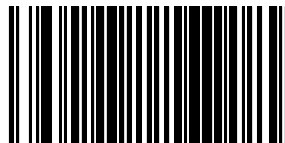


3 回

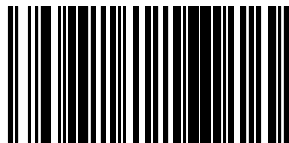


4 回

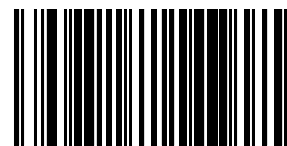
CODABAR 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



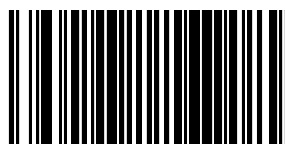
固定

CODABAR 桁数設定

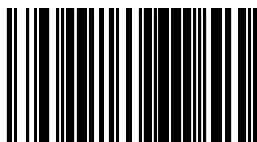
桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。

- 手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。
2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。
3. 巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

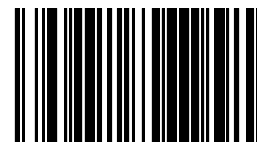
例) 03 → 3桁 (桁数設定1 初期値)
50 → 50桁 (桁数設定2 初期値)



設定開始/終了

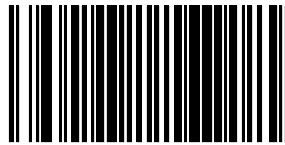


桁数設定 1

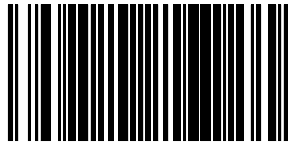


桁数設定 2

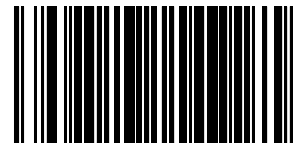
Code93



設定開始/終了



Code93 無効(初期値)

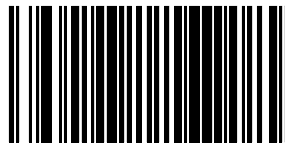


Code93 有効

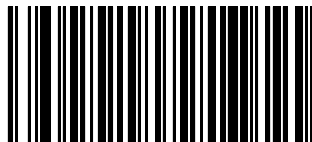
Code93 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

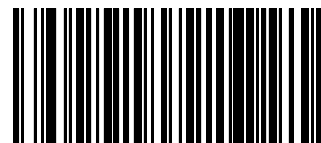
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



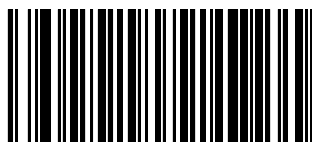
設定開始/終了



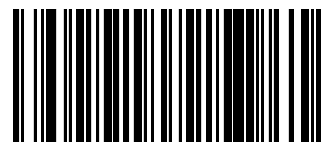
1 回



2 回(初期値)

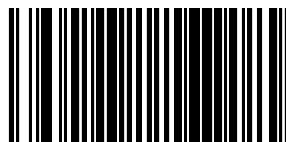


3 回

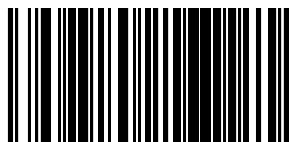


4 回

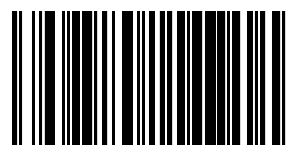
Code93 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Code93 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。

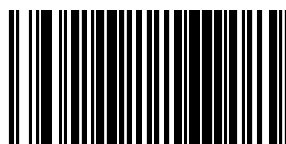
手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

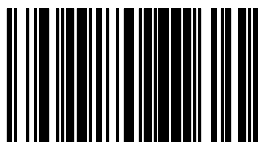
3. 巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

例) 01 → 1桁 (桁数設定1 初期値)

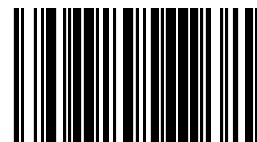
50 → 50桁 (桁数設定2 初期値)



設定開始/終了

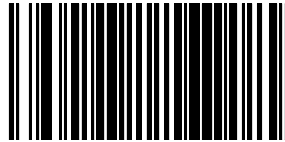


桁数設定 1

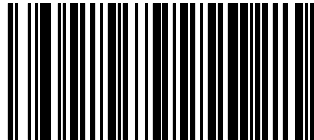


桁数設定 2

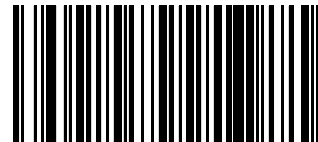
GS1 DataBar オムニダイレクト



設定開始/終了

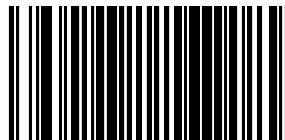


GS1 DataBar
オムニダイレクト無効 (初期値)

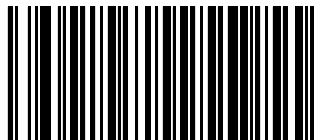


GS1 DataBar
オムニダイレクト有効

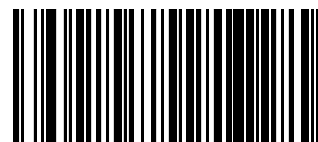
GS1 DataBar オムニダイレクト UCC/EAN128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

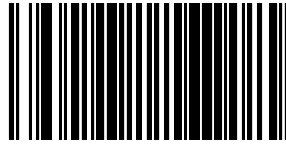


有効

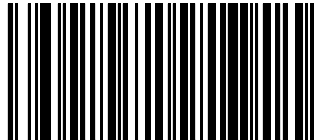
GS1 DataBar オムニダイレクトデコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

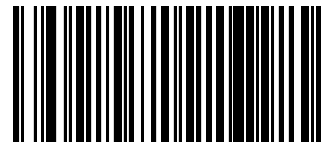
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



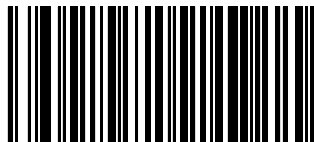
設定開始/終了



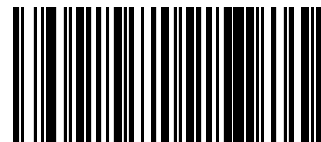
1 回



2 回(初期値)

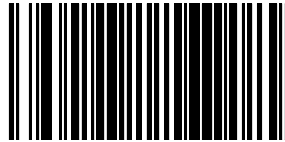


3 回

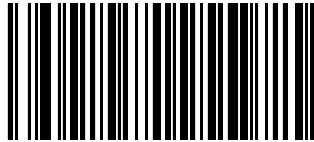


4 回

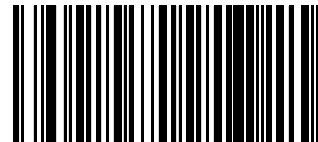
GS1 DataBar エクспанテッド



設定開始/終了

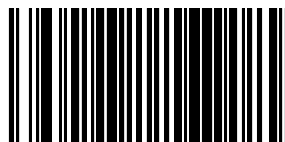


GS1DataBar エクспанテッド
無効 (初期値)

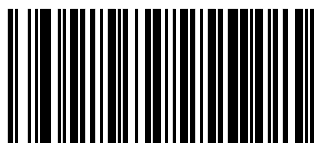


GS1 DataBar エクспанテッド
有効

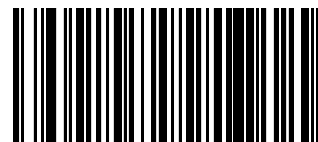
GS1 DataBar エクспанテッド GS1-128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

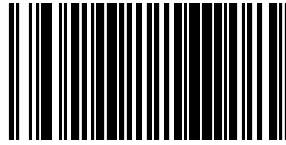


有効

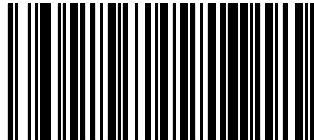
GS1 DataBar エクспанテッド デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

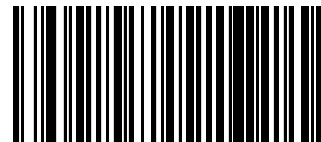
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



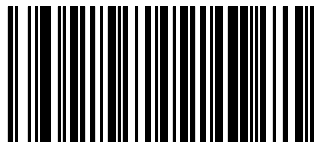
設定開始/終了



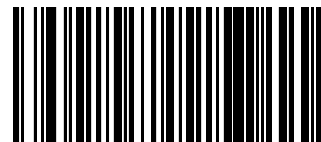
1 回



2 回(初期値)

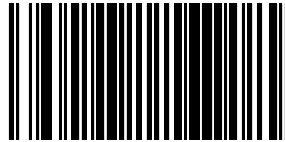


3 回

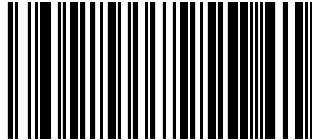


4 回

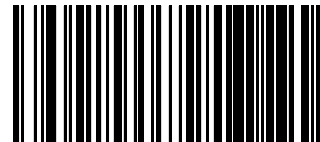
GS1 DataBar エクスパンテッド 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



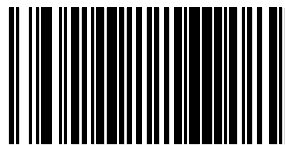
固定

GS1 DataBar エクスパンテッド 桁数設定

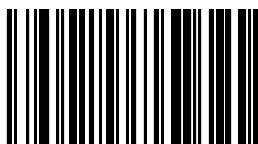
桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。

- 手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。
 2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。
 3. 巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

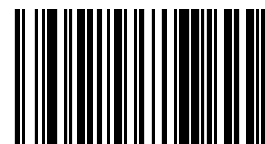
例) 01 → 1桁 (桁数設定1 初期値)
 74 → 74桁 (桁数設定2 初期値)



設定開始/終了

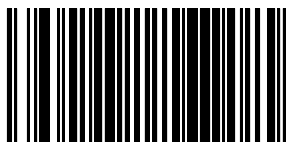


桁数設定 1

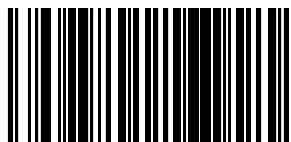


桁数設定 2

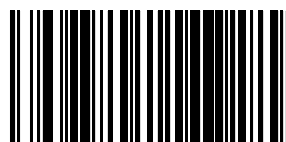
GS1 DataBar リミテッド



設定開始/終了

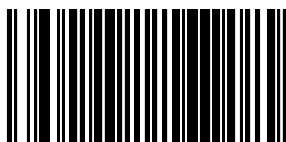


GS1 DataBar リミテッド
無効 (初期値)

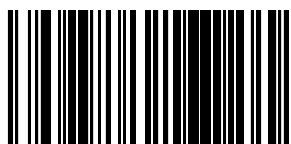


GS1 DataBar リミテッド
有効

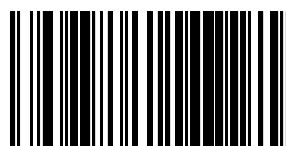
GS1 DataBar リミテッド GS1-128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

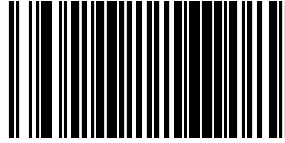


有効

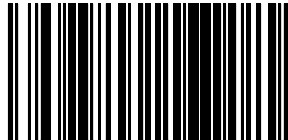
GS1 DataBar リミテッド デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

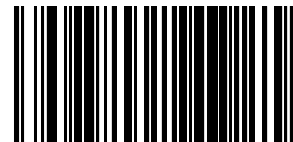
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



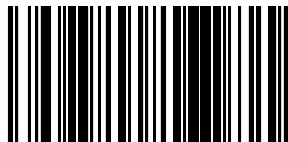
設定開始/終了



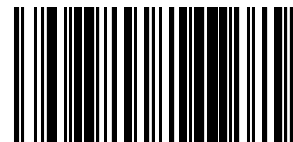
1 回



2 回(初期値)



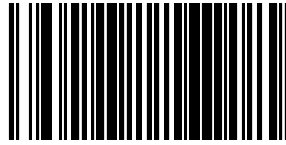
3 回



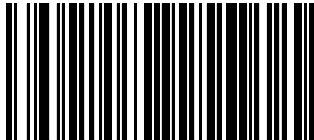
4 回

5. バーコード設定（2次元/コンポジットコード）

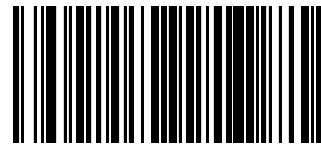
QR コード



設定開始/終了



無効



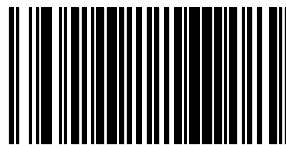
有効(初期値)

QR コード内 URL 読取

QR コードのデータが URL の場合の設定。

無効：QR コード内のデータが URL は読み取らない。

有効：QR コード内のデータが URL を読み取る。



設定開始/終了

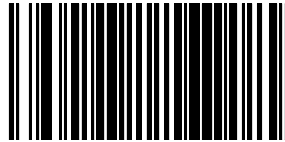


無効(初期値)

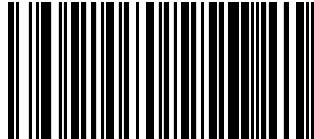


有効

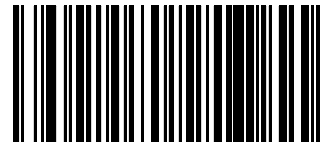
QR コード桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

QR コード桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。

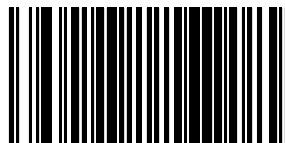
手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

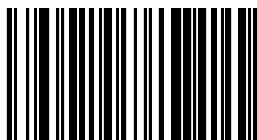
3. 巻末の「キーパッド」を用いて4桁の数値を入力します。

例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定 1 初期値)

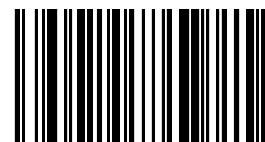
2710 → 2710 桁 (桁数設定 2 初期値)



設定開始/終了

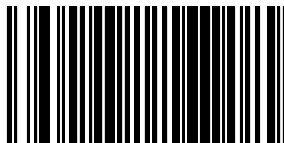


桁数設定 1

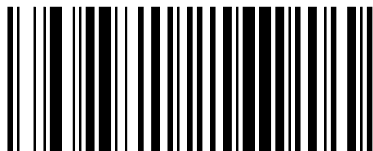


桁数設定 2

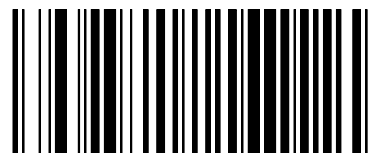
Micro QR コード



設定開始/終了

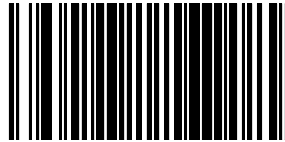


無効(初期値)

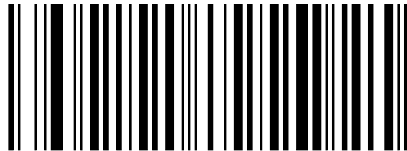


有効

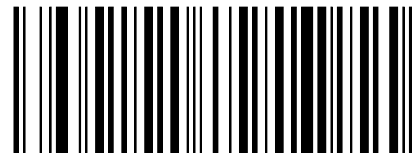
Micro QR コード桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Micro QR コード桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。

手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。

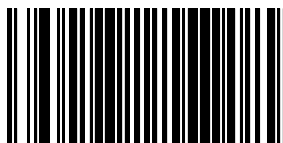
2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

3. 巻末の「キーパッド」を用いて4桁の数値を入力します。

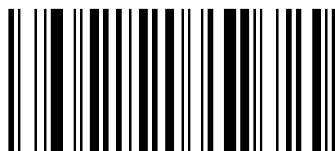
例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定 1 初期値)

3700 → 3700 桁 (桁数設定 2 初期値)

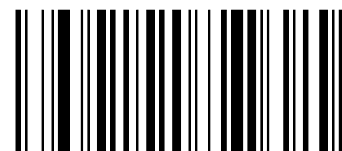
※最大桁数が3700桁となっていますが、Micro QR の最大桁数35文字 (数字のみ) となっております (JIS-X0510:2018 参照)



設定開始/終了

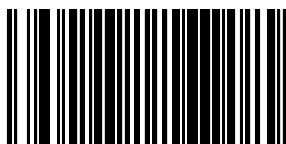


桁数設定 1

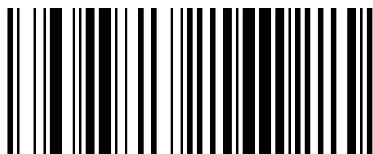


桁数設定 2

GS1 QR



設定開始/終了

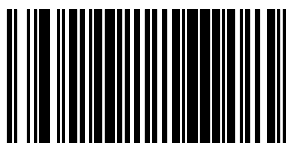


無効(初期値)

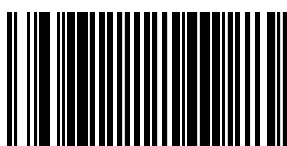


有効

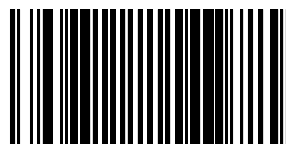
Datamatrix



設定開始/終了

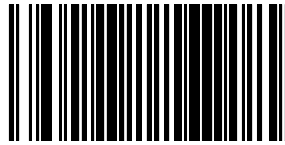


無効

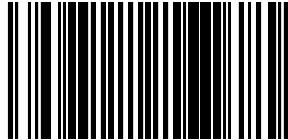


有効(初期値)

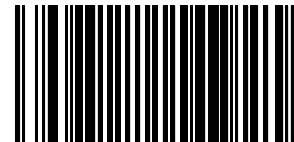
Datamatrix 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Datamatrix 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。

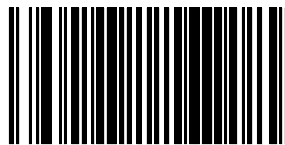
手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

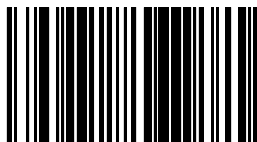
3. 巻末の「キーパッド」を用いて4桁の数値を入力します。

例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定 1 初期値)

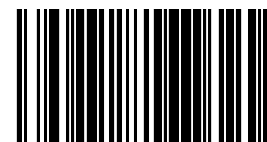
0800 → 0800 桁 (桁数設定 2 初期値)



設定開始/終了

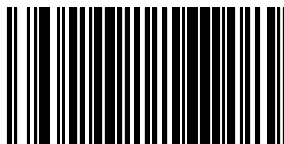


桁数設定 1

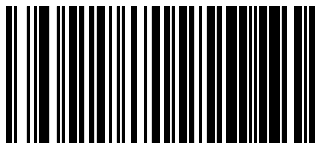


桁数設定 2

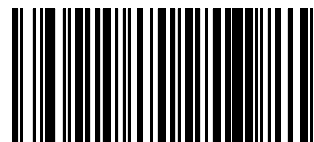
PDF417



設定開始/終了

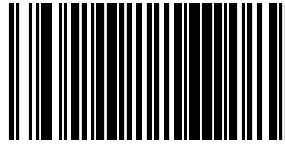


無効(初期値)

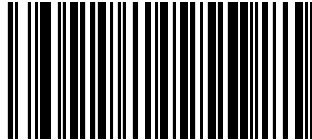


有効

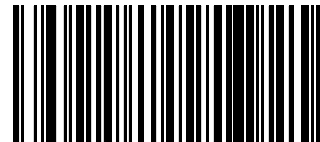
PDF417 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



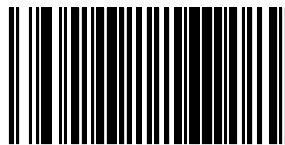
固定

PDF417 桁数設定

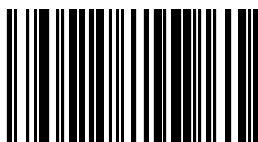
桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。

- 手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。
 2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。
 3. 巻末の「キーパッド」を用いて4桁の数値を入力します。

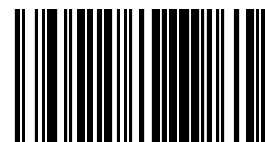
例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定 1 初期値)
 2710 → 2710 桁 (桁数設定 2 初期値)



設定開始/終了

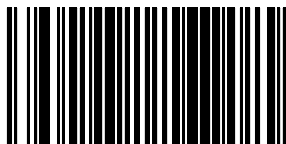


桁数設定 1

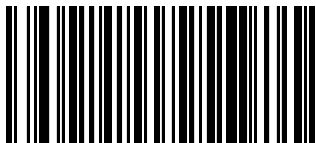


桁数設定 2

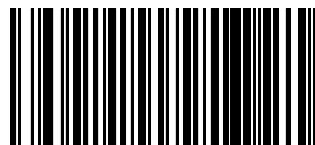
MicroPDF417



設定開始/終了

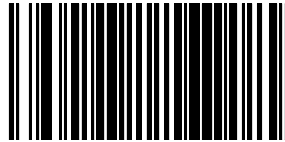


無効 (初期値)

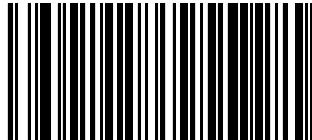


有効

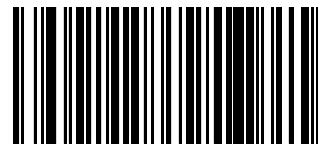
MicroPDF417 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

MicroPDF417 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。

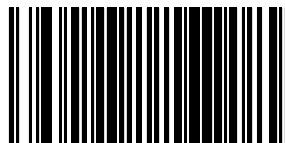
手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

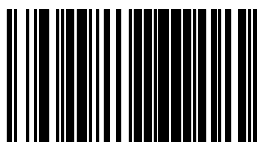
3. 巻末の「キーパッド」を用いて4桁の数値を入力します。

例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定 1 初期値)

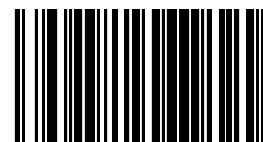
0366 → 0366 桁 (桁数設定 2 初期値)



設定開始/終了



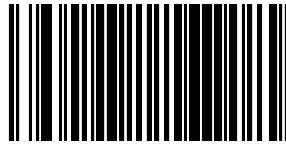
桁数設定 1



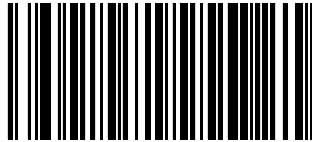
桁数設定 2

GS1 DataBar オムニダイレクト 2D コンポーネント

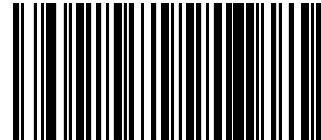
2D コンポーネントを有効にする場合は、リニアコードも有効に設定して下さい。



設定開始/終了



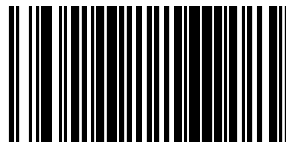
無効 (初期値)



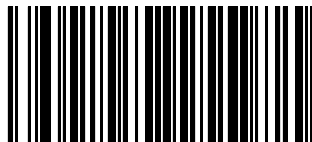
有効

GS1 DataBar エクспанテッド 2D コンポーネント

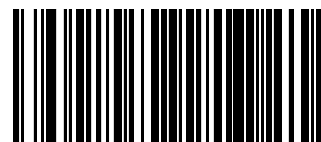
2D コンポーネントを有効にする場合は、リニアコードも有効に設定して下さい。



設定開始/終了

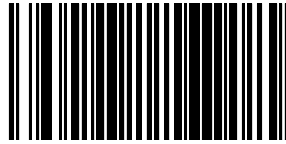


無効 (初期値)

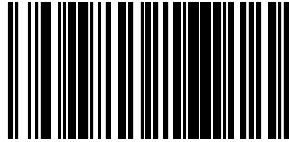


有効

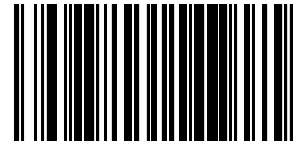
GS1 DataBar リミテッド 2D コンポーネント



設定開始/終了

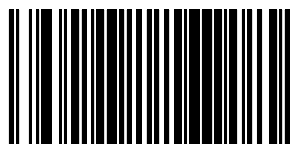


無効 (初期値)



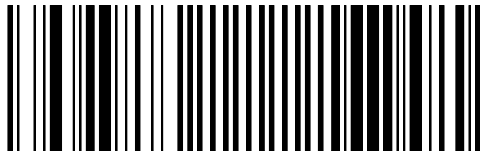
有効

GS1 Data bar オムニダイレクト 2D コンポーネントのコード ID 無効

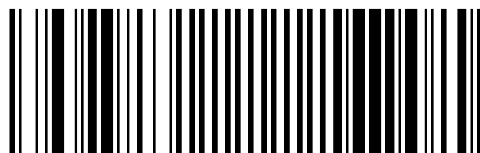


設定開始/終了

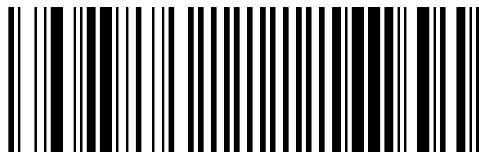
GS1 Data bar オムニダイレクト 2D コンポーネントのコード ID 無効



GS1 Data bar エクспанテッド 2D コンポーネントのコード ID 無効



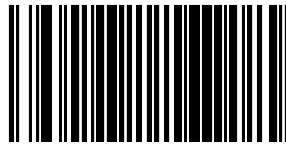
GS1 Data bar リミテッド 2D コンポーネントのコード ID 無効



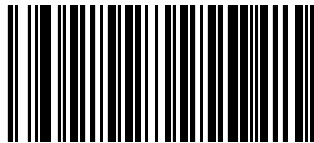
6. アドバンス・デコード設定

反転ラベル設定

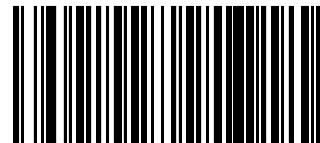
GS1DataBar および 2 次元コードの反転ラベルの読取り設定をします。



設定開始/終了



通常ラベルのみ(初期値)

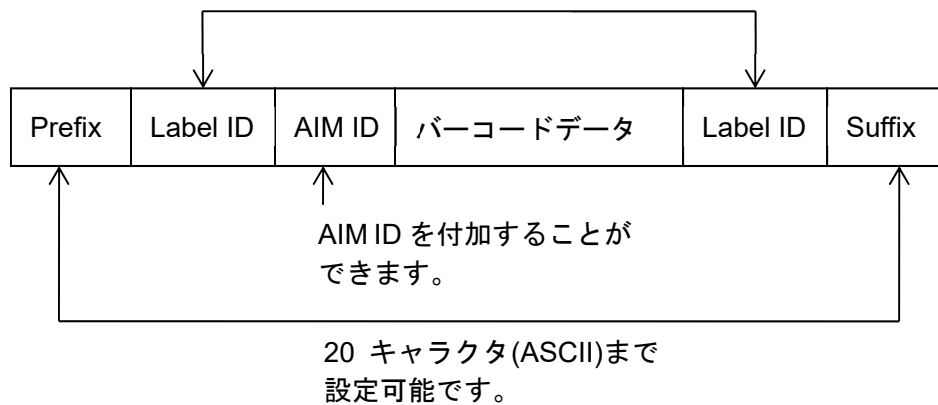


通常および反転ラベル

7. データ編集

データ編集の概要

ラベル ID はバーコードデータ前後どちらかに付加することができます。



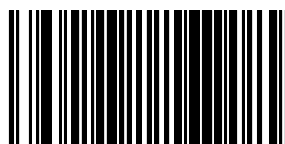
Prefix / Suffix

設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いての「ASCII チャート」に対応した数値を入力します。20 キャラクタまで設定可能です。20 キャラクタ未満の場合は入力後「設定開始/終了」バーコードを2回スキャンして下さい。

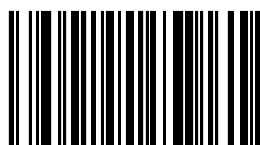
例) \$ → 「2」「4」

初期設定) Prefix: 00 (無し)

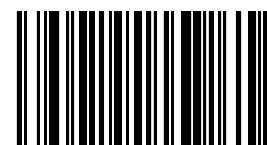
Suffix : 0D (CR)



設定開始/終了

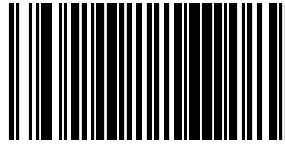


Prefix 設定

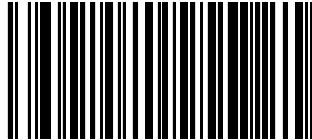


Suffix 設定

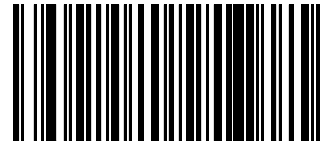
AIM ID



設定開始/終了



付加しない(初期値)



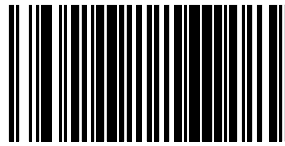
付加する

AIM ID 一覧

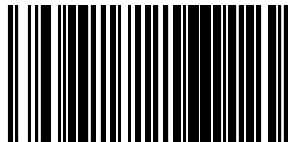
UPC/EAN/JAN	E
Code39	A
Codabar	F
I2of 5	I
Code93	G
Code128	C
GS1 オムニダイレクト, GS1 エクスパンテッド	e
ISBN	X

ラベル ID コントロール

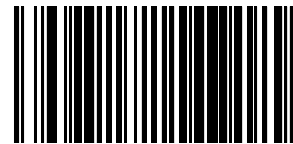
ラベル ID を付加する位置を設定します。
初期値は全てのインターフェイスでデータ前に付加。



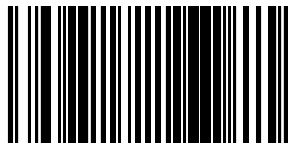
設定開始/終了



なし



バーコードデータ前に付加



バーコードデータ後に付加

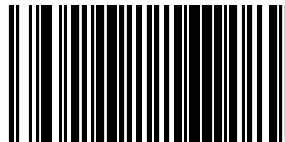
ラベル ID 初期値

コード	初期値	コード	初期値
EAN/JAN13	F	QR コード	QR
EAN/JAN13 P2	F	Datamatrix	Dm
EAN/JAN13 P5	F	Maixcode	MC
EAN/JAN8	FF	Aztec	Az
EAN/JAN8 P2	FF	PDF417	P
EAN/JAN8 P5	FF	MicroPDF417	mP
UPCA	A	GS1DataBar オムニダイレクト 2D	R4
UPCA P2	A	GS1DataBar リミテッド 2D	RL
UPCA P5	A	GS1DataBar エクスパンテッド 2D	RX
UPCE	E		
UPCE P2	E		
UPCE P5	E		
CODE39	*		
CODE128	#		
CODE93	&		
I 2OF 5	i		
CODABAR	%		
GS1DATABAR オムニダイレクト	R4		
GS1DATABAR エクスパンテッド	RX		
GS1DATABAR リミテッド	RL		

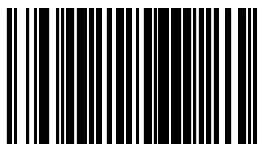
ラベル ID 個別設定

Label ID を個別に 3 キャラクタまで設定可能です。

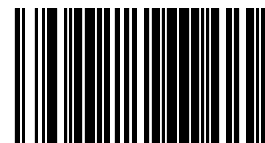
手順	操作	例		
1	「設定開始/終了」を読取ります			
2	ラベル ID を付加するバーコードを選択します			
3	ラベル ID (例)	DB1	=+	+
4	設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いての「ASCII チャート」に対応した数値を入力します。	44 42 31 00	3D 2B 00 00	2B 00 00 00
		(3 桁入力後は 00 を付加してください)	(2 桁以下の場合は残りの桁に 00 を入力し最後に 00 を付加して下さい。)	
5	「設定開始/終了」を読取ります			



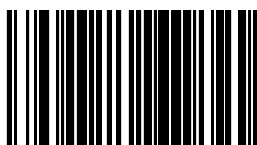
設定開始/終了



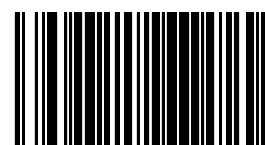
EAN/JAN13



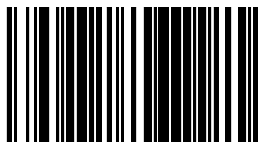
EAN/JAN13 P2



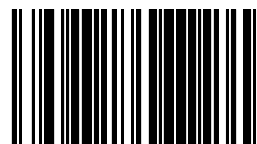
EAN/JAN13 P5



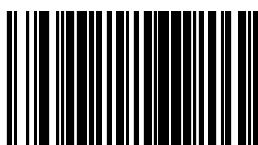
EAN/JAN8



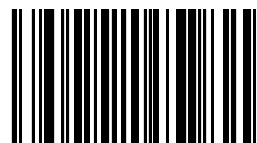
EAN/JAN8 P2



EAN/JAN8 P5



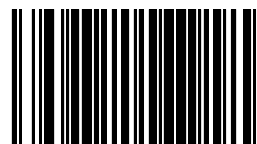
UPCA



UPCA P2



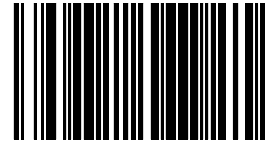
UPCA P5



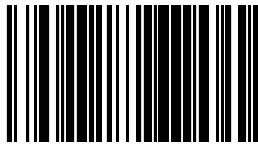
UPCE



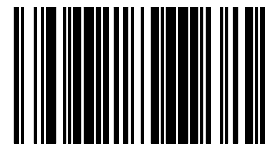
UPCE P2



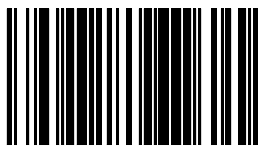
UPCE P5



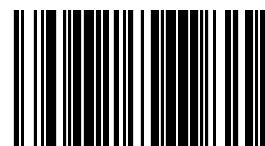
CODE39



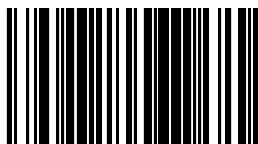
CODE128



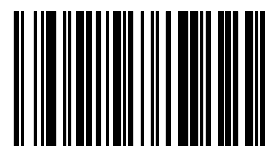
CODE93



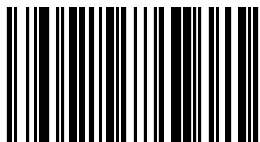
I 2OF 5



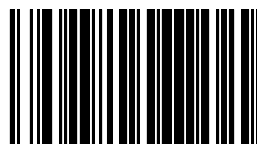
CODABAR



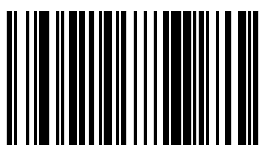
GS1DATABAR
オムニダイレクト



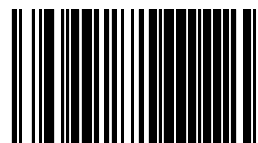
GS1DATABAR エクスパンテッド



GS1DATABAR リミテッド



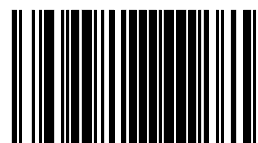
QR



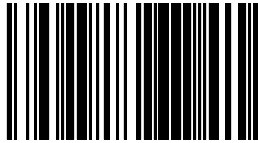
Datamatrix



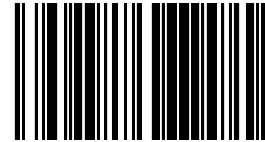
PDF417



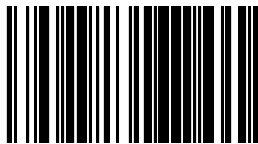
MicroPDF417



GS1Databar
オムニダイレクト 2D



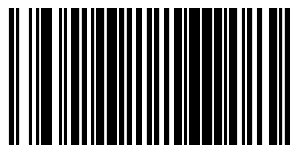
GS1Databar
リミテッド 2D



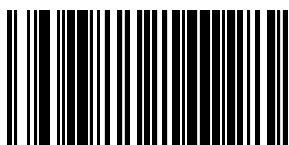
GS1Databar
エクспанテッド 2D

大文字小文字変換

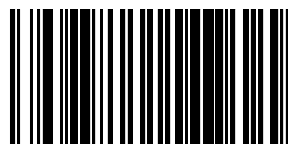
読取バーコードのデータの大文字(A～Z)小文字(a～z)変換を行います。
ラベル ID、Prefix,Suffix などに変換されません。



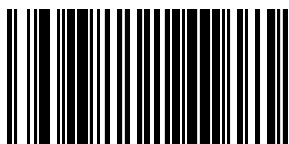
設定開始/終了



無効(初期値)



大文字変換

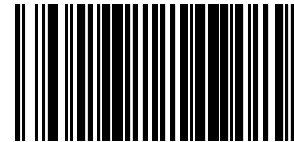


小文字変換

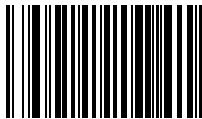
キャラクタ変換

4 キャラクタの組合せまでの変換が可能です。

手順	操作	例
1	「設定開始/終了」を読取ります	
2	「設定変換」を読取ります。	
3	変換	A(41)→B(42) 1(31)→2(32)
4	巻末の「キーパッド」を用いての「ASCII チャート」に対応した数値を入力します。 変換しない場合は「FF」となります	41423132FFFFFFFF
5	「設定開始/終了」を読取ります	



設定開始/終了



変換設定

(初期値:FFFFFFFFFFFFFF) 変換無し

付録 A. LED 表示とビーパ音

表示内容	LED 表示	ビーパ音
電源 ON	緑点滅	1 回
読取成功時	緑点滅	1 回
読取可能時	緑点灯	-
スリープ時	緑点滅 0.1s on 1.9s off	-

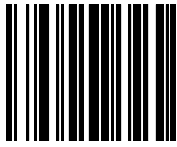
付録 B. 初期値一覧

RS-232 設定	
通信ボーレート	9600
パリティ	None
データビット	8bit
ストップビット	1bit
ハードウェアコントロール	無効
ソフトウェアコントロール	無効
キャラクタ間遅延	なし
USB キーボード	
キーボード言語	日本語 106
Caps Lock	OFF
ファンクションキー	無効
USB-COM	
USB-COM	
機能設定	
2度読み防止時間(リニアコード)	0.4s
2度読み防止時間(2次元コード)	0.7s
スリープモード設定	5min
パワーオンアラート	有効
読取表示	デコード後
読取確認音	有効
読取確認音質	中音
読取確認音長さ	80ms
読取確認音量	中
ハンドヘルドモード	無効
グリーンスポット点灯時間	0.25s
バーコード設定(リニアコード)	
EAN/JAN13	有効
EAN/JAN13 チェックデジット送信	有効
EAN/JAN13 デコード検証回数	2 回
EAN/JAN 8	有効
EAN/JAN 8 チェックデジット送信	有効
EAN/JAN 8 EAN/JAN 8 → EAN/JAN 13 変換	無効
EAN/JAN 8 デコード検証回数	2 回
UPC-A	有効
UPC-A チェックデジット送信	有効
UPC-A ナンバーシステムデジット	有効

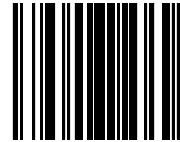
UPC-A → EAN/JAN 13 変換	無効
UPC-E デコード検証回数	2 回
UPC-E	有効
UPC-E チェックデジット送信	有効
UPC-E ナンバーシステムデジット	有効
UPC-E → EAN/JAN 13 変換	無効
UPC-E → UPC-A 変換	無効
UPC-E デコード検証回数	2 回
インストアマーキング デコード検証回数	2 回
GTIN 変換	無効
EAN/JAN / UPC アドオン	2 桁: 無効 5 桁: 無効
書籍 JAN2段コード	有効
書籍 JAN2段コード一括送信	無効
書籍 JAN2 段コードデコード検証回数	2 回
ISBN	無効
定期刊行物(雑誌)JAN コード	有効
Code39	有効
Code39 チェックキャラクタ計算	無効
Code39 チェックキャラクタ送信	有効
Code39 スタート/ストップキャラクタ送信	有効
Code39 Full ASCII 変換	無効
Code39 デコード検証回数	2 回
Code39 桁数	可変
Code39 桁数設定	桁数 1: 2 桁数 2: 50
Code128	有効
Code128 デコード検証回数	2 回
Code128 桁数	可変
Code128 桁数設定	桁数 1: 1 桁数 2: 80
I 2 OF 5	無効
I 2 OF 5 チェックデジット計算	無効
I 2 OF 5 チェックデジット送信	無効
I 2 OF 5 デコード検証回数	2 回
I 2 OF 5 桁数	固定
I 2 OF 5 桁数設定	桁数 1: 14 桁数 2: 16
CODABAR	無効
CODABAR チェックキャラクタ計算	無効
CODABAR チェックキャラクタ送信	有効
CODABAR スタート/ストップ キャラクタ送信	有効
CODABAR スタート/ストップ キャラクタセット	abcd/abcd
CODABAR デコード検証回数	2 回
CODABAR 桁数	可変
CODABAR 桁数設定	桁数 1: 3 桁数 2: 50
Code93	無効
Code93 デコード検証回数	2 回
Code93 桁数	可変

Code93 桁数設定	桁数 1: 1 桁数 2: 50
GS1 DataBar オムニダイレクト	無効
GS1 DataBar オムニダイレクト UCC/EAN エミュレーション	無効
GS1 DataBar オムニダイレクトデコード検証回数	2 回
GS1 DataBar エクспанテッド	無効
GS1 DataBar エクспанテッド GS1-128 エミュレーション	無効
GS1 DataBar エクспанテッド デコード検証回数	2 回
GS1 DataBar エクспанテッド 桁数	可変
GS1 DataBar エクспанテッド 桁数設定	桁数 1: 1 桁数 2: 74
GS1 DataBar リミテッド	無効
GS1 DataBar リミテッド GS1-128 エミュレーション	無効
GS1 DataBar リミテッド デコード検証回数	2 回
バーコード設定(2 次元コード)	
QR コード	有効
QR コード内 URL 読取	無効
QR 桁数	可変
QR 桁数設定	桁数 1: 1 桁数 2: 2710
Micro QR	無効
Micro QR 桁数	可変
Micro QR 桁数設定	桁数 1: 1 桁数 2: 3700
GS1 QR	無効
Datamatrix	有効
Datamatrix 桁数	可変
Datamatrix 桁数設定	桁数 1: 1 桁数 2: 0800
PDF417	有効
PDF417 桁数	可変
PDF417 桁数設定	桁数 1: 1 桁数 2: 2710
MicroPDF417	無効
MicroPDF417 桁数	可変
MicroPDF417 桁数設定	桁数 1: 1 桁数 2: 0366
GS1 DataBar オムニダイレクト 2D コンポーネント	無効
GS1 DataBar エクспанテッド 2D コンポーネント	無効
GS1 DataBar リミテッド 2D コンポーネント	無効
アドバンスド・デコード設定	
反転ラベル設定	通常
データ編集	
Prefix	00(無し)
Suffix	0D(CR)
AIM ID	付加しない
ラベル ID コントロール(I/F: RS232C) (I/F: USB COM、USB キーボード)	前に付加
大文字小文字変換	無効
キャラクタ変換	変換無し

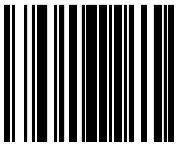
付録 C. キーパッド



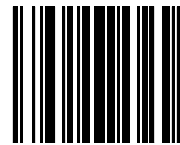
0



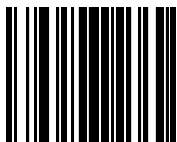
1



2



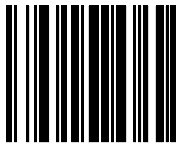
3



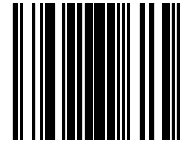
4



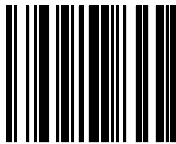
5



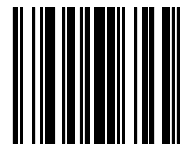
6



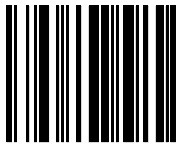
7



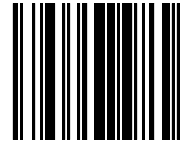
8



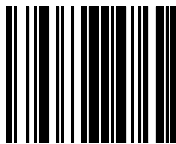
9



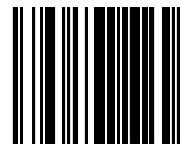
A



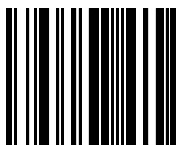
B



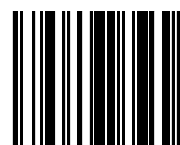
C



D



E



F

付録 D. ファンクションキーマップ

ASCII (hex)	ASCII code	キーマップ 日本語キーボード PS2	キーマップ USB キーボード
00	NUL	ALT right Make	ALT right Make
01	SOH	ALT right Break	ALT right Break
02	STX	ALT left Make	F11
03	ETX	ALT left Break	F12
04	EOT	CTRL left Make	GUI right Make
05	ENQ	CTRL left Break	CUI right Break
06	ACK	CTRL right Make	CTRL right Make
07	BEL	CTRL right Break	CTRL right Break
08	BS	BS	BS
09	HT	TAB right	TAB right
0A	LF	RIGHT arrow (inner keypad)	RIGHT arrow (inner keypad)
0B	VT	TAB left	TAB left
0C	FF	Enter (inner keypad)	Enter (inner keypad)
0D	CR	CR	CR
0E	SO	INSERT (inner keypad)	INSERT (inner keypad)
0F	SI	PAGE UP (inner keypad)	PAGE UP (inner keypad)
10	DLE	PAGE DOWN (inner keypad)	PAGE DOWN (inner keypad)
11	DC1	HOME (inner keypad)	HOME (inner keypad)
12	DC2	LEFT arrow (inner keypad)	LEFT arrow (inner keypad)
13	DC3	DOWN arrow (inner keypad)	DOWN arrow (inner keypad)
14	DC4	UP arrow (inner keypad)	UP arrow (inner keypad)
15	NAK	F6	F6
16	SYN	F1	F1
17	ETB	F2	F2
18	CAN	F3	F3
19	EM	F4	F4
1A	SUB	F5	F5
1B	ESC	ESC	ESC
1C	FS	F7	F7
1D	GS	F8	F8
1E	RS	F9	F9
1F	US	F10	F10

付録 E. ホストコマンド

RS232C にて下記の制御コマンドが使用できます

	ASCII	HEX	備考
リセット	R	0x52	
スキャナ有効	E	0x45	
スキャナ無効	D	0x44	
ビープ	B	0x42	スキャナ有効時に読取確認音を鳴動

付録 F. ASCII チャート

ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.
NUL	00	SP	20	@	40	'	60
SOH	01	!	21	A	41	a	61
STX	02	“	22	B	42	b	62
ETX	03	#	23	C	43	c	63
EOT	04	\$	24	D	44	d	64
ENQ	05	%	25	E	45	e	65
ACK	06	&	26	F	46	f	66
BEL	07	'	27	G	47	g	67
BS	08	(	28	H	48	h	68
HT	09	)	29	I	49	i	69
LF	0A	*	2A	J	4A	j	6A
VT	0B	+	2B	K	4B	k	6B
FF	0C	,	2C	L	4C	l	6C
CR	0D	-	2D	M	4D	m	6D
SO	0E	.	2E	N	4E	n	6E
SI	0F	/	2F	O	4F	o	6F
DLE	10	0	30	P	50	p	70
DC1	11	1	31	Q	51	q	71
DC2	12	2	32	R	52	r	72
DC3	13	3	33	S	53	s	73
DC4	14	4	34	T	54	t	74
NAK	15	5	35	U	55	u	75
SYN	16	6	36	V	56	v	76
ETB	17	7	37	W	57	w	77
CAN	18	8	38	X	58	x	78
EM	19	9	39	Y	59	y	79
SUB	1A	:	3A	Z	5A	z	7A
ESC	1B	;	3B	[	5B	{	7B
FS	1C	<	3C	¥	5C		7C
GS	1D	=	3D	]	5D	}	7D
RS	1E	>	3E	^	5E	~	7E
US	1F	?	3F	_	5F	DEL	7F

IDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社

本 社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64

 <https://ias.co.jp>

 **06-7662-7370** FAX: 06-6398-3202

東京本社 / テクニカルセンター

〒141-0032 東京都品川区大崎5-6-2 都五反田ビル西館5F

TEL: 03-6674-1145 FAX: 03-6674-1441(営業部)

TEL: 03-5740-5293 FAX: 03-5740-5287(カスタマーサポート部)

名古屋営業所 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-10-17 今池セントラルビル1F

TEL: 052-732-1561 FAX: 052-732-1562

- 記載されている社名及び商品名は各社の登録商標です。
- 仕様、その他記載内容は予告なしに変更する場合があります。

※IDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社は東証一部上場のIDEC株式会社グループです。

